

KENWOOD

NEW ALLORA

コンパクト オーディオ

XL-3MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用を開始する前に必ず、この取扱説明書
の「安全編」をお読みになり、十分にご理
解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ
さるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要
になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国
で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc



本機の特長

ミニディスク

MDレコーダーを標準装備

→ 22

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーもカンタンにできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなど、多彩な機能が自慢です。

スリーディー

3Dステレオサウンドシステム

→ 65

3次元的な音響空間を造り出す画期的なシステム(Sound Retrieval System)です。奥行きや音場の広さ、音像の定位感などが明らかに向上しリスニングエリアも広がります。(Retrieval: 回復、復活などの意)

便利な録音あれこれ

→ 41

目的別に使える、多彩な録音機能をたくさん用意しました。

- ワンタッチエディット : キーを押すだけでCD、MD1枚または1曲を録音
- TWIN RECORDING機能 : 1枚のCDをMDとテープに同時録音
- BEST HITS機能 : セットした全てのCDの1曲目だけを、順にMDに録音
- デジタル/アナログ独立録音機能 (裏録音機能) : CD→MDのワンタッチエディット録音(全曲録音時)、またはBEST HITS機能を使って録音しながら、放送やテープの再生が可能。また、放送、外部機器からテープへの録音、テープからテープへのダビングも可能です。
- プログラム録音 : 好きな曲を好きな順に録音
- タイム編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音 (CD→TAPEのみ)
- フェード編集録音 : 1曲目から順に録音 (CD→TAPEのみ)

使って便利なDPSS

→ 21

カセットテープなのに、CDのような再生をすることができます。

- 曲を飛び越して聴く

いろいろ楽しめる音質調整

→ 63

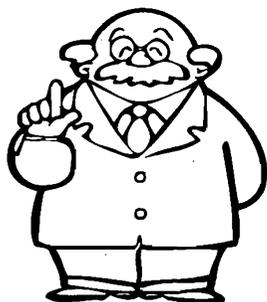
聴く音楽のジャンルによってお好みで音質を選べます。
ポピュラー(POP)、ロック(ROCK)、ジャズ(JAZZ)、クラシック(CLASSIC)

便利なタイマー機能

→ 69

2つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。

- AI タイマー : タイマーONの後、徐々に音量が大きくなる。
- O.T.T. : 簡単に設定できて、1回限り働くタイマー。
- スリープタイマー : おやすみのときに便利。



付属品

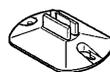
FM室内アンテナ(1本)



AM ループアンテナ(1個)



AMループアンテナスタンド(1個)



スピーカーコード(2本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用乾電池(R6/SUM-3)(2本)



目次

準備編

音を出す前に

本機の特長	2
目次	3
接続のしかた	4
システムと付属品の接続	4
オプション(別売品)の接続	6
各部のなまえと働き	8
アンプ/チューナー/カセットデッキ部	8
CDプレーヤー/MDレコーダー部	10
リモコン部	12
リモコンの使いかた	13

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

音を出してみましょう	14
基本的な使いかた	14
CDを聴く	16
テープを聴く	18
MDを聴く	22
放送を聴く	26
録音してみましょう	28
テープに録音する(Bデッキのみ)	28
MDに録音する	32

応用編

楽しさが広がります

CDを聴く	34
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	34
繰り返し聴く(リピート再生)	36
予期しない曲順を楽しむ(ランダム再生)	37
MDを聴く	38
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	38
繰り返し聴く(リピート再生)	40
便利な録音あれこれ	41
録音のタイプを選ぶ	41
1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)	43
いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)	44
1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→TAPE) (プログラム編集録音)	47
1枚または、複数枚のCDを録音する(CD→MD) (プログラム録音)	48
テープの長さに応じて曲順を入れ替える(CD→TAPEのみ) (タイム編集録音)	49
テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする (フェード編集録音)(CD→TAPEのみ)	51

MDの編集機能	52
編集機能のタイプを選ぶ	52
曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)	53
曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE)	54
曲を分ける(TRACK DIVIDE)	55
曲をつなぐ(TRACK COMBINE)	56
1曲消す(TRACK ERASE) または全曲消す(ALL ERASE)	57
ディスクや曲にタイトルをつける	59
タイトルを変更、消去する	60
効果的な音質調整	61
バランスとインプットレベルの調整	61
小音量で聴くとき(L.L.C.: Listening Level Control機能)	62
お好みの音質で音楽を聴く(イコライザー機能)	63
音場効果を楽しむ	65
カラオケを楽しむ	66
時刻合わせ	68
タイマーを使う	69
オペレートイージートゥーユーズタイマー(O.T.T.)	69
おやすみタイマー	69
プログラムタイマー予約	70

知識編

知っている则何かと便利です

知っておきましょう	73
メンテナンス	73
参考	73
ディスクとテープの取り扱いかた	74
故障と思われる症状ですが...	77
定格	82
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	83

安全編

安全にお使いいただくために

安全上のご注意(必ずお読みください)	85~88
--------------------	-------



安全編には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用の前に、必ずお読みください。

システムと付属品の接続

アローラXL-3MDのシステムと、付属品の接続方法です。図をよくご覧になり、番号通りの手順で、正しく接続してください。

マイコンの誤動作について

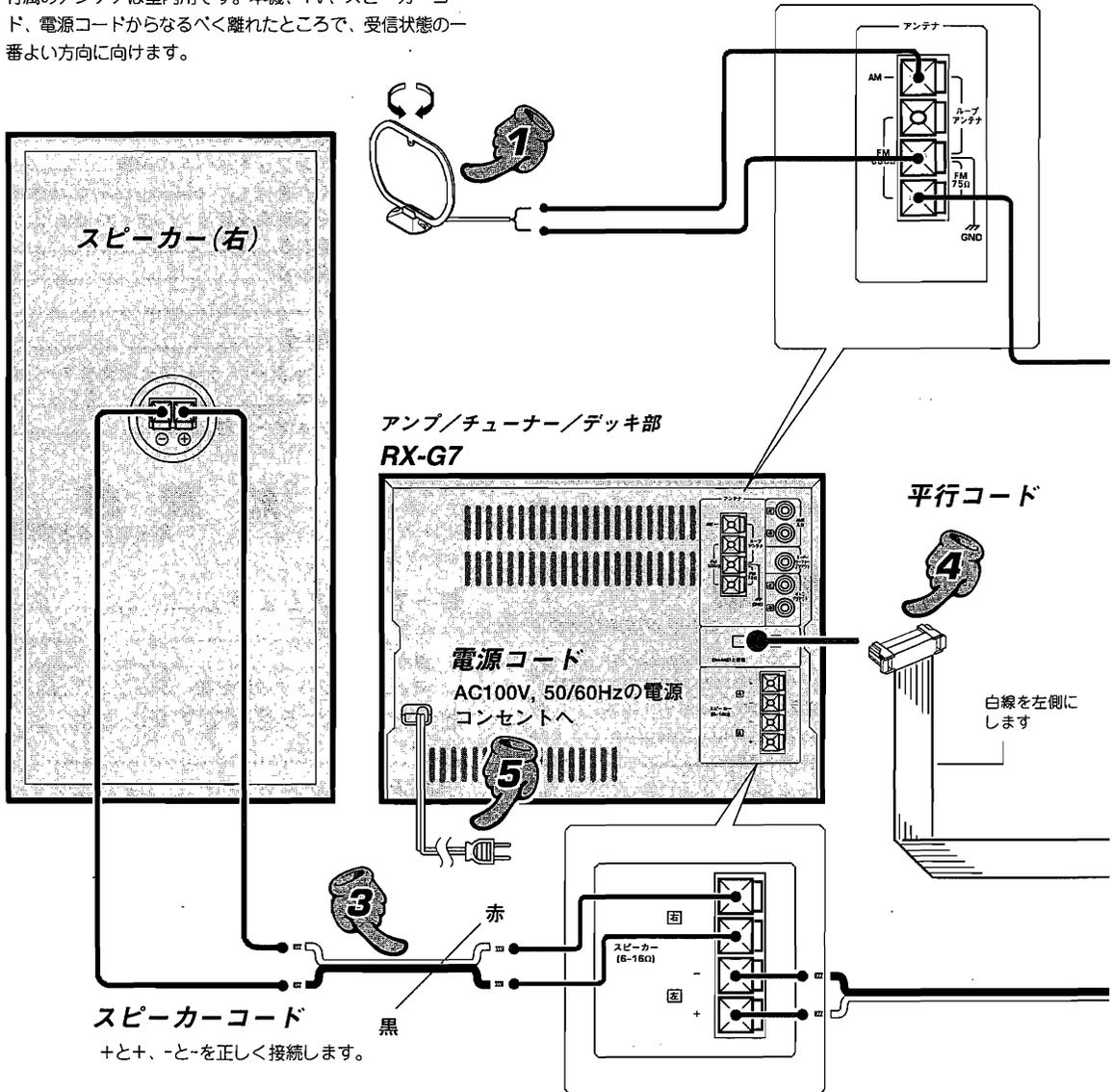
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。

→ 77

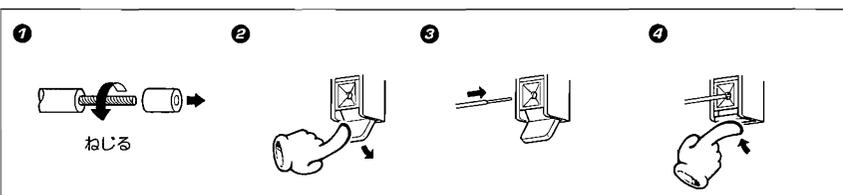


AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



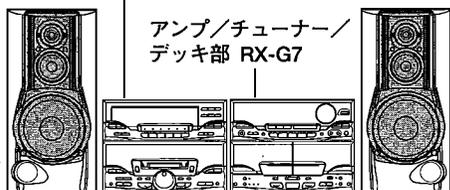
本体部



設置上のご注意 (前から見たところ)

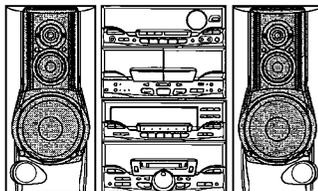
横置きの場合

CDプレーヤー/
MDレコーダー部 DM-MG7



縦置きの場合

過熱による火災の原因になりますので、RX-G7をDM-MG7の下に置かないでください。



設置の際は、放熱のためセットの周囲(突起部含む最大外形)を、下記の寸法以上空けてください。
上面: 50cm

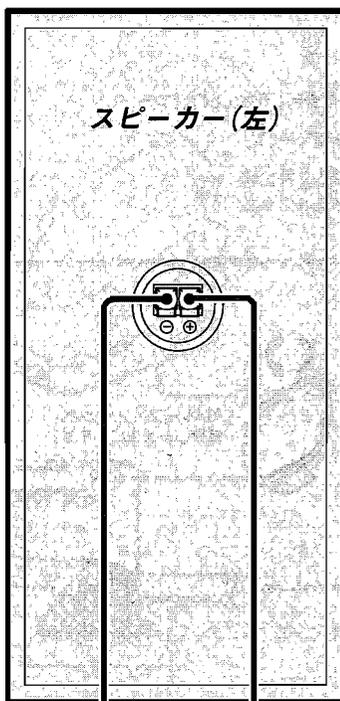
FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

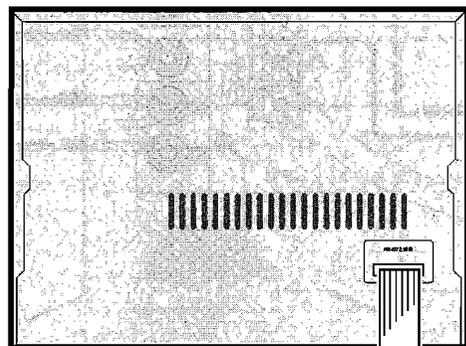
- ① コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ② 受信状態のよい位置をさがす。
- ③ 固定する。



スピーカー(左)



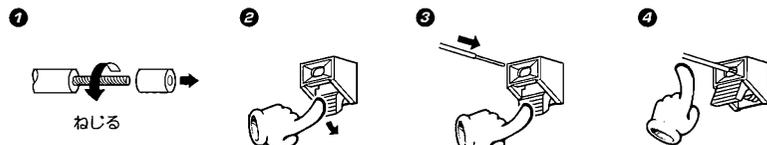
CDプレーヤー/MDレコーダー部
DM-MG7



スピーカーコード

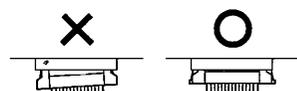


スピーカー部

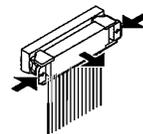


平行コードの接続について

- 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- 平行コードの白線を、左側にして接続してください。



- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながまますぐに引き抜きます。



注意



接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のようになってください。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. セットの積み重ねは、接続回通りに行ってください。
4. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
5. セットの前面は揃えてください。
6. スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
7. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

オプション(別売品)の接続

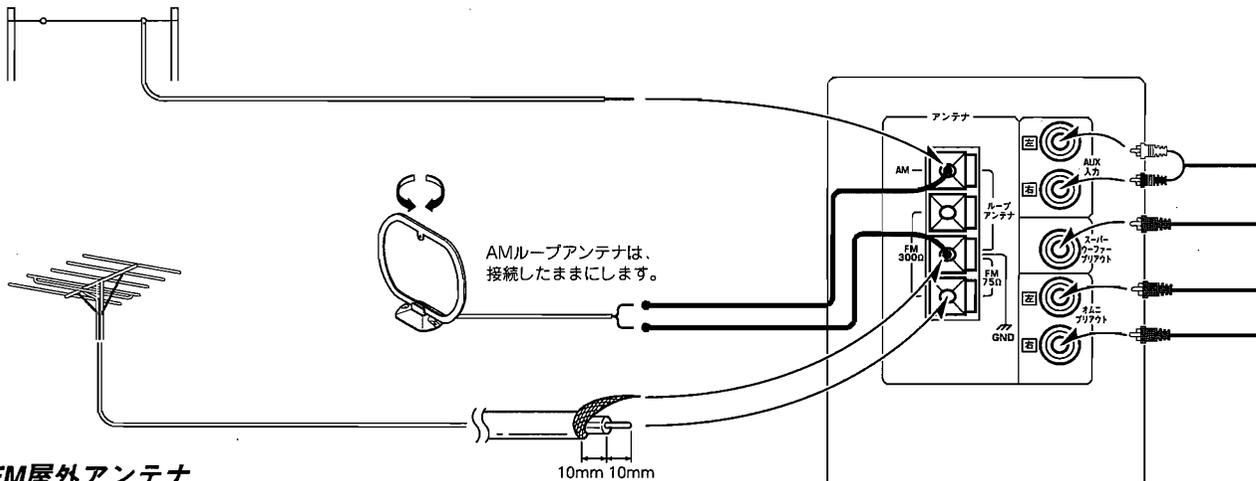
別売品は、図のように接続します。

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

準備編

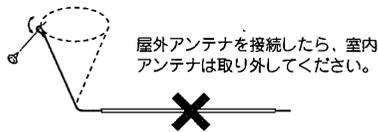
AM屋外アンテナ

受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま、6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、FM75Ω端子に接続します。



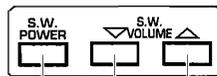
注意



屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

スーパーウーファーの操作について

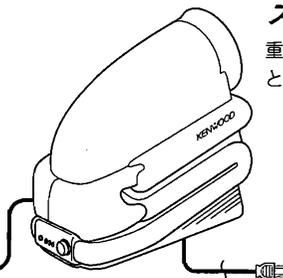
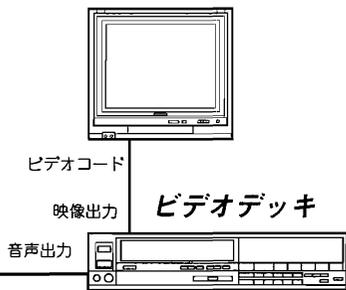


スーパーウーファーの音量を調節します。

スーパーウーファーの電源をON/OFFします。

- スーパーウーファーの音量を一度決めると、あとは**VOLUME CONTROL**だけで同じバランスのまま増減します。
- リモコンはスーパーウーファーに向けてください。

モニターテレビ

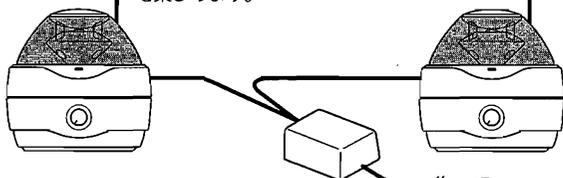


スーパーウーファー (SW-05)

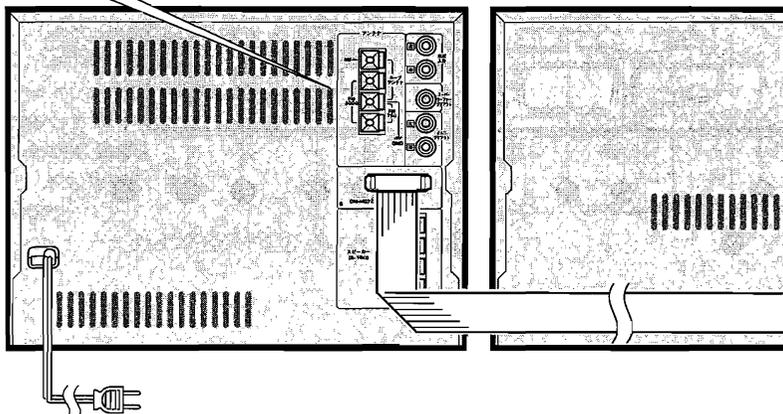
重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。

オムニスピーカー (OMNI-A5)

音場の広がりを出します。自由なレイアウトを楽しめます。



電源アダプター (OMNI-A5に付属)



注意



接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

機器の接続は、図のように行ってください。



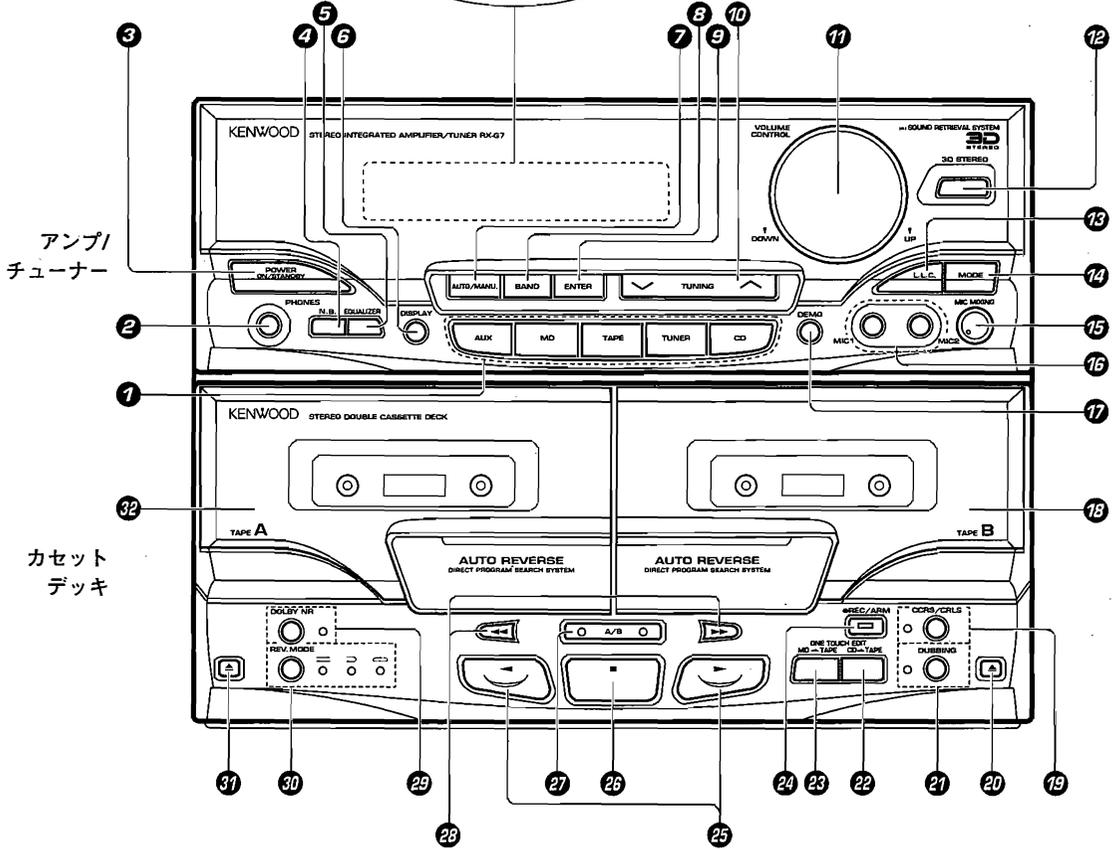
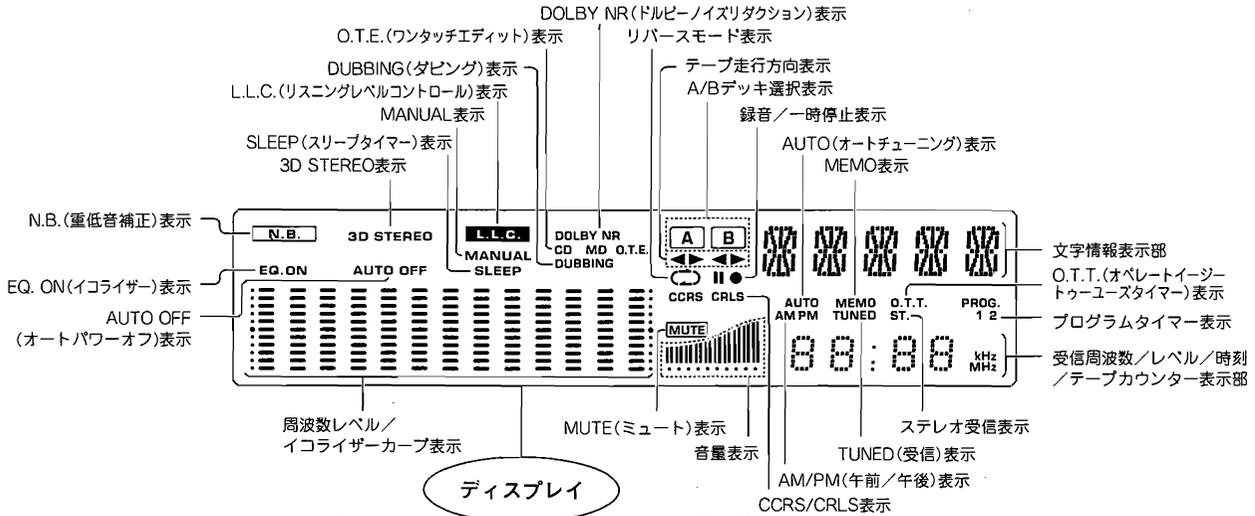
1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
3. コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすくに引き抜きます。

各部のなまえと働き

XL-3MD (J)

アンプ/チューナー/カセットデッキ部

準備編



アンプ/チューナー部

- ① 入力切換キー → 14
入力ソースを選びます。TAPE、CD、MDを選んだとき、すでにテープやディスクがセットされていれば、自動的に再生が始まります。
- ② PHONES端子 → 15
ヘッドホン(別売)を接続します。
- ③ POWERキー → 14
電源のON/OFFを切り換えます。
- ④ N.B.キー → 15
小さな音で聴くときに、重低音の量感不足を補います。
- ⑤ EQUALIZERキー → 64
イコライザー効果をON/OFFします。また、イコライザー効果のタイプを選びます。
- ⑥ DISPLAYキー → 15
ディスプレイの表示内容を切り換えます。
- ⑦ AUTO/MANU.キー → 27
放送の受信モードを切り換えます。
- ⑧ BANDキー → 26
受信する放送バンドを切り換えます。
- ⑨ ENTERキー → 68
時刻合わせやタイマーの設定などに使います。
- ⑩ TUNINGキー → 26
受信する放送局を選びます。
- ⑪ VOLUME CONTROLつまみ → 14
通常は、音量の調節に使います。目的に応じてMODEキーで機能を切り換えることができます。
- ⑫ 3D STEREOキー → 65
3DステレオのON/OFFを切り換えます。
- ⑬ L.L.C.キー → 62
静かに聴くときの音量を設定しておき、ワンタッチで呼び出せます。
- ⑭ MODEキー → 61
VOLUME CONTROLつまみの機能を切り換えます。選択できる項目は、そのときの状態によって異なります。
- ⑮ MIC MIXINGつまみ → 66
マイクミキシングをするとき、マイクからの音声と、再生音のバランスを調節します。
- ⑯ MIC 1, MIC 2端子 → 66
マイク(別売)を接続します。
- ⑰ DEMOキー → 63
デモンストレーションのON/OFFを切り換えます。

POWERスイッチのSTANDBYについて

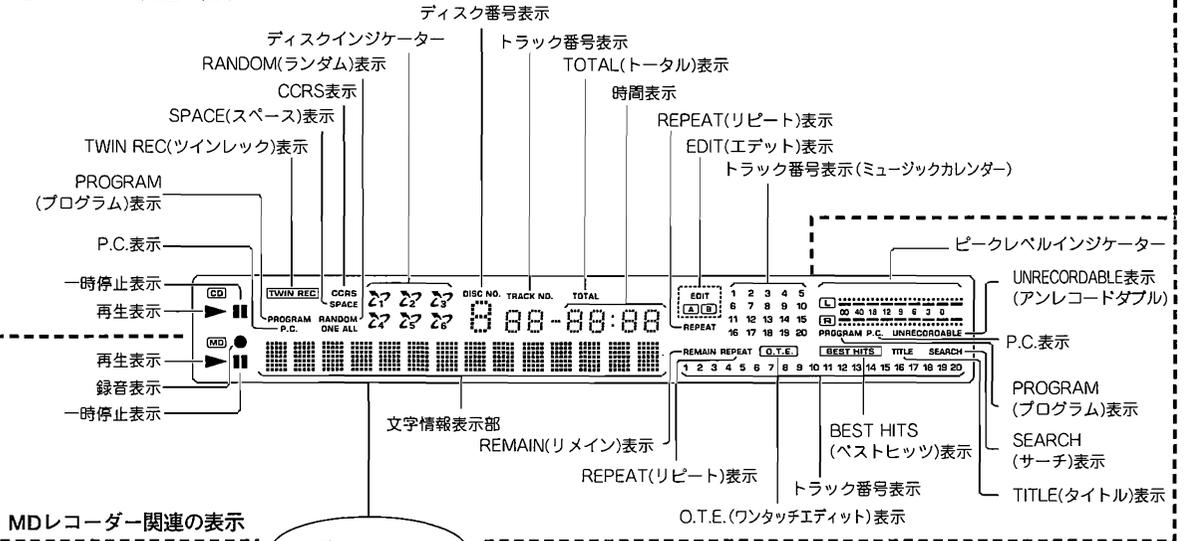
本機では電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源ON/OFFに関係なく時刻表示が点灯しています。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。時刻表示が点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができません。

カセットデッキ部

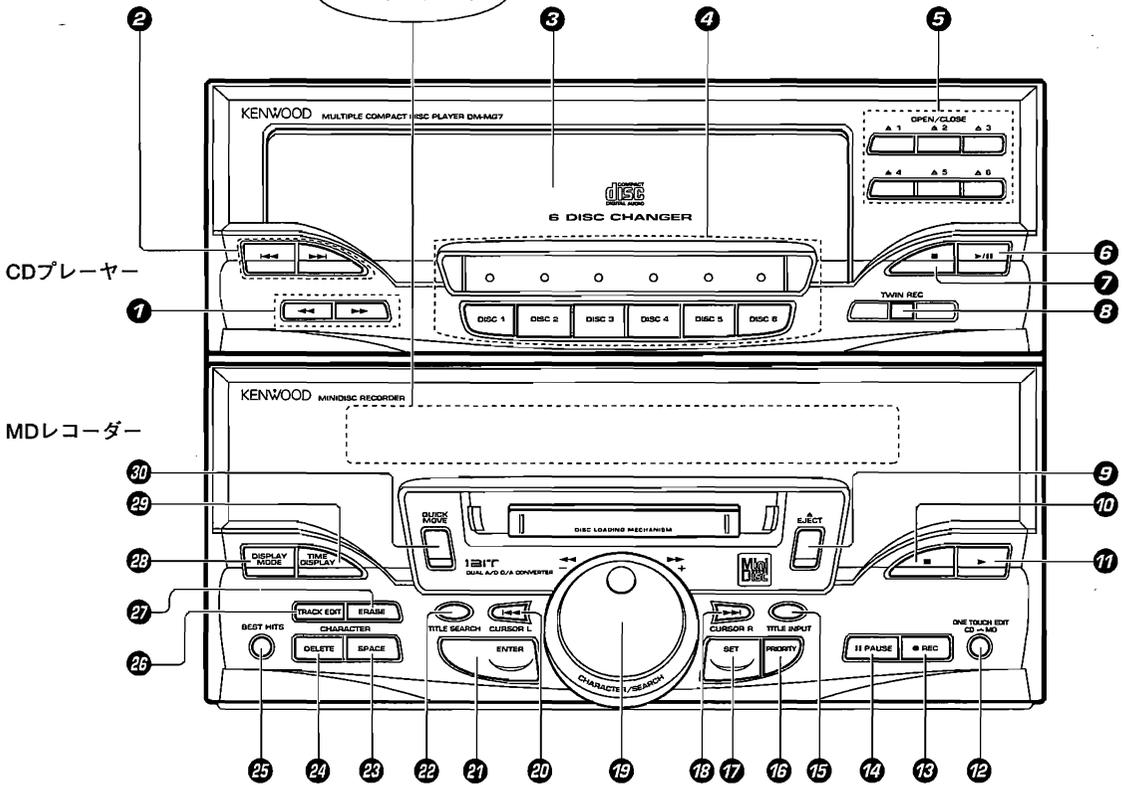
- ⑱ Bデッキカセットホルダー
- ⑲ CCRS/CRLSキー/インジケータ → 30, 47
CDを録音するときはCCRSキーとして働き、そのとき選ばれているディスクの内容を、テープへ全自動録音します。MDから録音するときにはCRLSキーとして働き、録音レベルを自動調整します。
- ⑳ Bデッキエジェクト(▲)キー
テープを出し入れするときに、カセットホルダーを開きます。
- ㉑ DUBBINGキー/インジケータ → 31
Aデッキのテープの内容をBデッキのテープにコピーします。
- ㉒ ONE TOUCH EDIT (CD→TAPE)キー → 43
CDのディスクの全曲を、順にテープへ録音します。再生中に押すと、その曲だけを最初からテープへ録音します。
- ㉓ ONE TOUCH EDIT (MD→TAPE)キー → 43
MDレコーダーの停止中に押すと、そのときセットされているMDの全曲を、順にテープへ録音します。再生中に押すと、その曲だけを最初からテープへ録音します。
- ㉔ REC/ARMキー/インジケータ → 29
録音を始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(アキ)を作ってから停止します。
- ㉕ 再生(◀▶)キー/インジケータ
カセットデッキの再生を始めます。テープの走行方向をインジケータの点灯で示します。
- ㉖ 停止(■)キー → 19
再生、早送り、巻戻しや録音などを停止します。
- ㉗ A/Bキー/インジケータ
デッキA、デッキBのどちらを操作するか選びます。選ばれているデッキをインジケータの点灯で示します。
- ㉘ 早送り、巻戻しキー(◀▶▶▶)
- カセットデッキの早送り、巻戻しに使います。
- ㉙ DOLBY NRキー/インジケータ → 19
ドルビーノイズリダクションのON/OFFを切り換えます。選ばれている状態をインジケータの点灯で示します。
- ㉚ REV. MODEキー/インジケータ → 19
デッキのリバースモード(両面、繰り返し、片面)を切り換えます。選ばれている状態をインジケータの点灯で示します。
- ㉛ Aデッキエジェクト(▲)キー
テープを出し入れするときに、カセットホルダーを開きます。
- ㉜ Aデッキカセットホルダー

CDプレーヤー／MDレコーダー部

CDプレーヤー関連の表示



MDレコーダー関連の表示



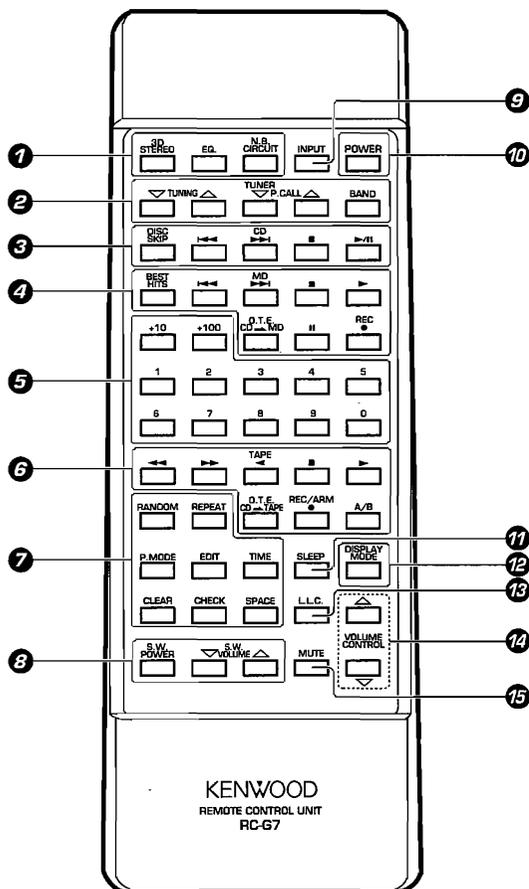
CDプレーヤー部

- ① 早送り、早戻し[◀◀ ▶▶]キー - 17
- ② スキップ[◀◀ ▶▶]キー - 17
曲の飛び越しや頭出しに使用します。
- ③ ディスクトレイ - 16
- ④ ディスクセクター-(DISC 1~DISC 6)キー/インジケータ - 17
再生するディスクを選びます。
トレイにディスクが入っているときは、インジケータが点灯し、ディスクの再生中は点滅します。
- ⑤ OPEN/CLOSE[▲ 1~▲ 6]キー - 16
ディスクを出し入れするときに使用します。
- ⑥ 再生/一時停止[▶/⏸]キー (CD) - 16
押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
- ⑦ 停止[■]キー (CD) - 17
- ⑧ TWIN RECキー - 45
CDをMDとテープへ同時に録音します。

MDレコーダー部

- ⑨ EJECT [▲]キー - 23
ディスクを取り出すときに押します。
- ⑩ 停止[■]キー (MD) - 23
- ⑪ 再生[▶]キー (MD) - 22
- ⑫ ONE TOUCH EDIT (CD→MD)キー - 43
CDからMDへ、ワンタッチエディットをするときに使用します。
- ⑬ REC[●]キー - 32
録音をするときに使用します。
- ⑭ 一時停止[⏸]キー (MD) - 59
- ⑮ TITLE INPUTキー/インジケータ - 59
タイトル入力をするときに使用します。
- ⑯ PRIORITYキー - 59
タイトル入力するとき、文字のグループを選択します。
- ⑰ SETキー - 53
タイトル入力や、編集をするときに使用します。
- ⑱ CURSOR R[▶▶]キー - 60
再生時は、スキップ(曲の飛び越し)キーとして使用します。
タイトル入力時は、カーソルの移動に使用します。
- ⑲ ジョグダイヤル[◀◀, ▶▶] - 23
再生時は、早送り、早戻しに使用します。
その他に、タイトルサーチや、編集にも使用します。
- ⑳ CURSOR L[◀◀]キー - 60
再生時は、スキップ(曲の飛び越し)キーとして使用します。
タイトル入力時は、カーソルの移動に使用します。
- ㉑ ENTERキー - 53
編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使用します。
- ㉒ TITLE SEARCHキー/インジケータ - 24
タイトルサーチをするときに使用します。
- ㉓ CHARACTER SPACEキー - 60
タイトル入力するとき、1文字ぶんの空白を挿入します。
- ㉔ CHARACTER DELETEキー - 60
タイトル入力するとき、1文字を削除します。
- ㉕ BEST HITSキー - 46
収納されている全てのCDの1曲目を、順にMDへ録音します。
- ㉖ TRACK EDITキー - 54
曲を編集するときに使用します。
- ㉗ ERASEキー - 57
曲またはディスク全体を消去するときに使用します。
- ㉘ DISPLAY MODEキー - 25
タイトル表示などのモードを切り換えます。
- ㉙ TIME DISPLAYキー - 25
時間表示のタイプを切り換えます。
- ㉚ QUICK MOVEキー - 53
曲順の入れ替えをするときに使用します。

リモコン部



本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

① 音質、音場関連キー

3D STEREOキー

EQキー：本体のEQUALIZERキーと同じ働きをします。 → 63

N.B. CIRCUITキー：本体のN.B.キーと同じ働きをします。 → 15

② チューナー関連キー

TUNING (▽△)キー

P.CALL (▽△)キー：記憶させた放送局を受信するときに、使います。 → 26

BANDキー

③ CDプレーヤー関連キー

DISC SKIPキー：聴きたいディスクを選びます。 → 17

スキップ (◀◀▶▶)キー

停止 (■)キー

再生/一時停止 (▶/||)キー

④ MDレコーダー関連キー

BEST HITSキー

スキップ (◀◀▶▶)キー

停止 (■)キー

再生 (▶)キー

O.T.E. (CD→MD)キー：本体のONE TOUCH EDIT (CD→MD)キーと同じ働きをします。

一時停止 (||)キー

REC (●)キー

⑤ 数字キー

CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERの数字キーとして使います。(+100キーは、MDレコーダー専用です。)

⑥ カセットデッキ関連キー

早送り、巻戻し (◀◀ ▶▶)キー

再生 (◀ ▶)キー

停止 (■)キー

O.T.E. (CD→TAPE)キー：本体のONE TOUCH EDIT (CD→TAPE)キーと同じ働きをします。

REC/ARM (●)キー

A/Bキー

⑦ CD、MD 特殊再生関連キー

RANDOMキー (CD)：CDの曲順を順不同に再生します。 → 37

REPEATキー (CD, MD)：繰り返し再生するときに使います。 → 36, → 40

P.MODEキー (CD, MD)：曲順をプログラムするときに使います。 → 34, → 38

EDITキー (CD)：CDをテープに編集録音するときに使います。 → 49

TIMEキー (CD)：CDの時間表示モードを切り換えます。 → 17

CLEARキー (CD, MD)：プログラムした曲順を取り消します。 → 35, → 39

CHECKキー (CD, MD)：プログラムした曲順を確認のために表示します。 → 35, → 39

SPACEキー (CD)：CDのプログラム再生のとき、曲間に数秒間の無音部 (アキ) を自動的に作ります。 → 35

(CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて、CD、MDのうち、選ばれている側に対して働きます。)

⑧ スーパーウーファー (別売) 操作キー

S.W. POWERキー：スーパーウーファースの電源をON/OFFします。

S.W. VOLUMEキー：スーパーウーファースの音量を調節します。

⑨ INPUTキー

聴きたい、または録音したい入力ソースを選びます。

⑩ POWERキー

⑪ SLEEPキー

おやすみタイマーを設定するときに使います。

⑫ DISPLAY MODEキー (MD)

⑬ L.L.C.キー

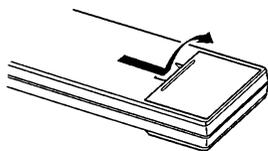
⑭ VOLUME CONTROL (▽△)キー

⑮ MUTEキー

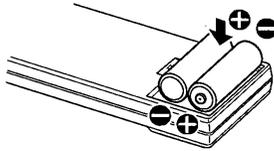
一時的に音を消したいときに使います。

電池の入れかた

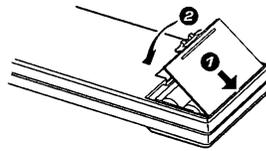
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



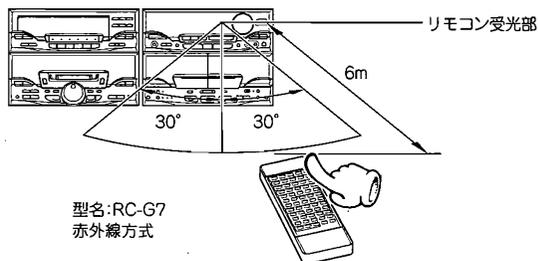
●単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

アンプの電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

電源をOFFにするときは、再度POWERキーを押します。時刻表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。

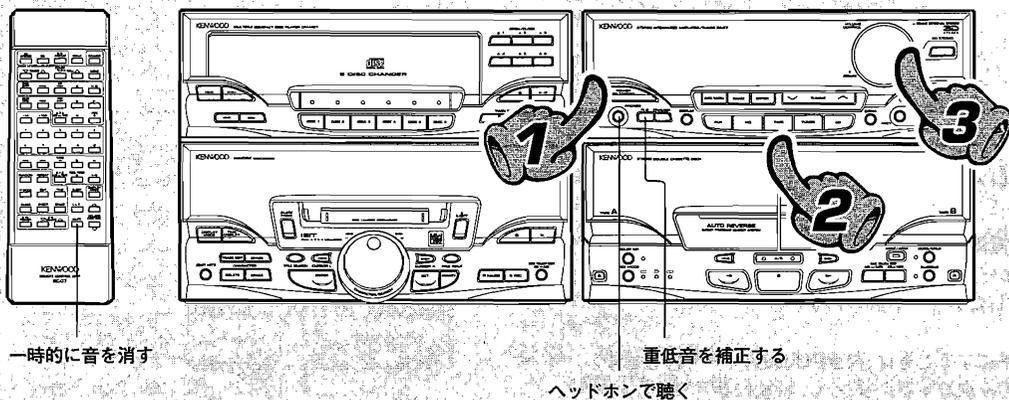


型名:RC-G7
赤外線方式

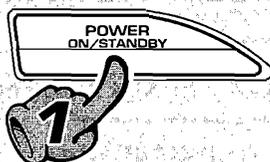
操作範囲のめやす

- ④
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
 2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
 3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

基本的な使いかた



パワーキーを押す



1. 電源をONにする (OFFにする)

電源がONのときにPOWERキーを押すとOFFになります。

- アンブ/チューナー部のPOWERキーだけで、基本システムの電源ON/OFFができます。
- 電源がOFFのときは表示部が暗くなります。(DIMMER機能)

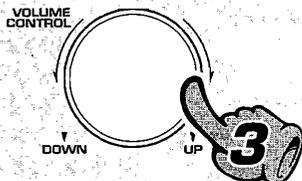
2. 聴きたいものを選ぶ



CD	- 16
テープ	- 18
MD	- 22
放送	- 26

- リモコンを使うときは、INPUTキーを繰り返し押し続けて選んでください。
- CD、TAPE、MDを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

3. 音量を調節する



- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。

一時的に音を消す (リモコンのみ)



リモコン



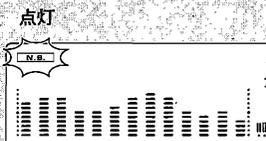
点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量や、L.L.C.を操作したときも解除されます。

重低音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)

ナチュラル ベース サーキット

自然な重低音が楽しめます。



- もう一度押すと、解除されます。

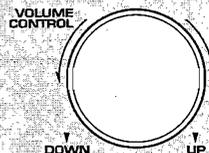
ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む



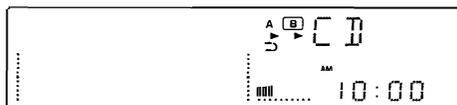
- スピーカーから音が出なくなります。

- ② 音量を調節する

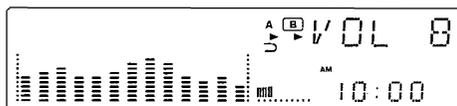


- プラグを抜き差しするときは、先に音量を絞ってください。

CDを選んだとき



音量の表示

オート パワー セーブ
AUTO POWER SAVE機能について

CD, TAPEのとき

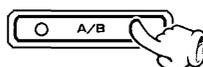
電源がONで、録音も再生もしていない状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がOFFになる機能です。

TUNER, AUXのとき

電源をONした時、TUNERまたはAUXで電源が立ち上がった場合、そのまま一度も入力切替キーで他の入力モードに切り換ええない状態が30分過ぎると、自動的に電源がOFFになります。

この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。

電源がOFFのときに押す



点灯



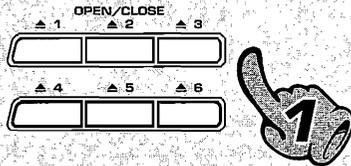
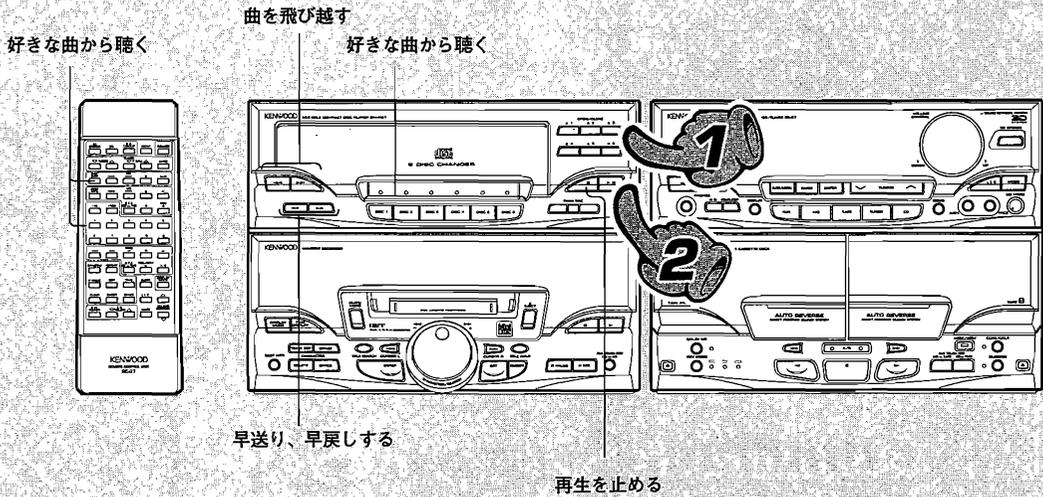
押すたびに切り換わります。

- ① "AUTO OFF" 点灯.....オートパワーセーブを使う
- ② "AUTO OFF" 消灯... オートパワーセーブを使わない

- 他の入力モードからTUNERまたはAUXに切り換えた場合は、"AUTO OFF" が点灯していても、この機能は働きません。ただし、TUNERのときは、音量が0のときに限り働きます。

CDを聴く

6枚のディスクを収納できます。また、再生中にも他の5枚のディスクの入れ替えができます。



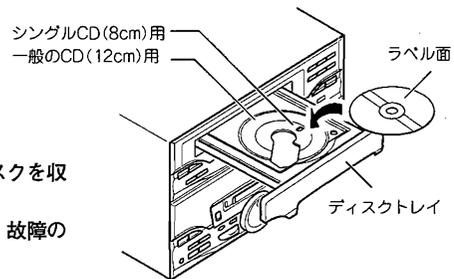
キーを押すと、その番号のトレイが開き、もう一度押すと閉まります。トレイが開いているときに別の番号のキーを押すと、自動的にトレイが閉まってから、押した番号のトレイが開きます。

1. ディスクを入れる

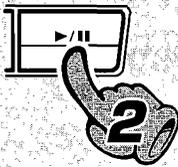
- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

①～③を繰り返して、6枚までディスクを収納できます。

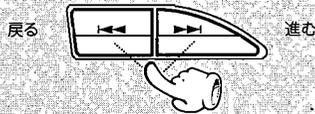
ディスクを2枚以上重ねて入れると、故障の原因になります。



2. 再生をはじめる



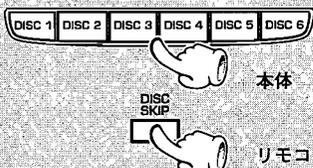
曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。

好きな曲から聴く

① ディスクを選ぶ



② 曲を選ぶ

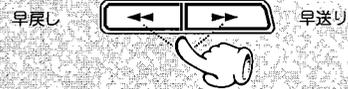


数字キーを押す順序は

23曲目なら ... [+10] [+10] [3]

40曲目なら ... [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

早送り・早戻しする



- 手を離したところから再生します。

一時停止する

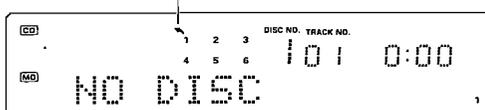


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める



開いたトレイ番号を示します



- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因になります)
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。

収録されている曲



ディスクを入れ、トレイを開けると点灯します。

- 数秒後にトレイ番号1の、1曲目から再生します。
- 好きなディスクから聴くときは、DISC1~DISC6(ディスクセレクト)キーでディスクを選んでください。



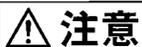
点灯しているディスクインジケータは、電源をOFFにした後、再びONにしても点灯しません。トレイを開閉するか、再生を始めたときインジケータは、点灯します。

CDプレーヤーの時間表示について

リモコンの^{タイム}TIMEキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 再生中の曲の経過時間
- ② - 2:37 再生中の曲の残り時間
- ③ 23:45 ディスク全体の経過時間
- ④ - 36:15 ディスク全体の残り時間

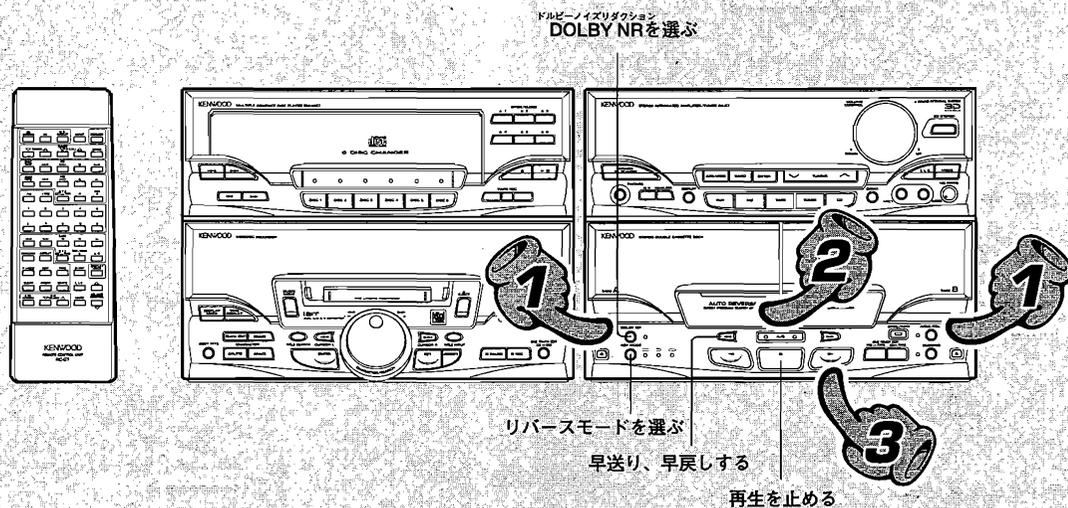
●PROGRAMモード、EDITモードとRANDOMモードにTOTAL表示はありません。



レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

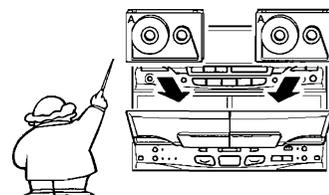
テープを聴く



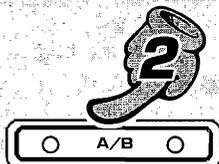
1. カセットテープを入れる



- ① ドアを開ける
- ② テープを入れ、ドアを閉める



2. 再生するデッキを選ぶ



おもて面を再生する

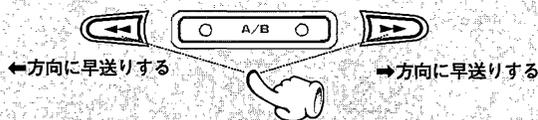
3. 再生する



うら面を再生する



早送り・早戻しする



- 止めるときは、■ キーを押してください。

リバースモードを選ぶ



押すたびに切り換わります。

- ① "▷" ... 両面を再生して止まる
(◀キーを押した場合、うら面のみ再生されます)
- ② "◁" ... 両面をエンドレス再生する
- ③ "◄" ... 片面のみを再生して止まる

再生を止める



- テープが完全に停止するまで、イジェクトキーを押さないでください。

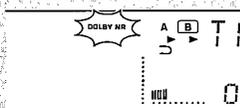
ドルビーノイズリダクション
DOLBY NRを選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。
ドルビーノイズリダクション
DOLBY NR をONにして録音したテープを再生するときは、ドルビーNRをONにして再生してください。

DOLBY NR

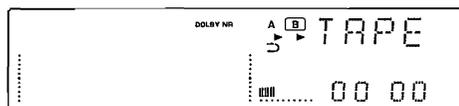


DOLBY NRがONのとき点灯



押すたびに切り換わります。

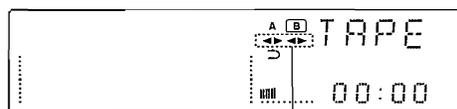
- ① "DOLBY NR" 点灯...ドルビーNRを使う
- ② "DOLBY NR" 消灯...ドルビーNRを使わない



- ノーマル(タイプ I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。
- ドアは確実に閉めてください。

走行方向表示について

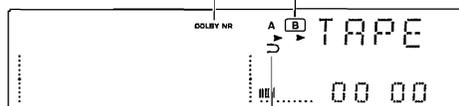
イージーオベーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向を、◀▶キーのインジケーター(◀▶)の点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、いったん逆向きの◀または▶キーを押してから■キーを押します。)



走行方向表示

DOLBY NRの表示

選択されたデッキが □ で表示されます。



リバースモードの表示

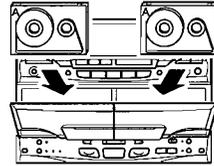


イコライザーや3Dレベルの効果をかけて録音したテープは、効果をかけずに再生してください。

リレー再生について

A、B両デッキにテープがセットされていて、リバースモードが"⊖"(両面再生)のとき、片方のテープの再生が終わると、自動的にもう一方のデッキが再生を始めます。テープの再生は交互に繰り返されます。

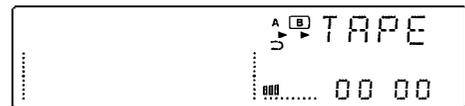
- リバースモードが "⊕" または "⊔" の場合は、リレー再生はできません。



カウンターを利用して

カセットテープを入れると、テープカウンターが 0000 と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておく、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が ◀ のとき)はカウンターの数字は減っていきます。

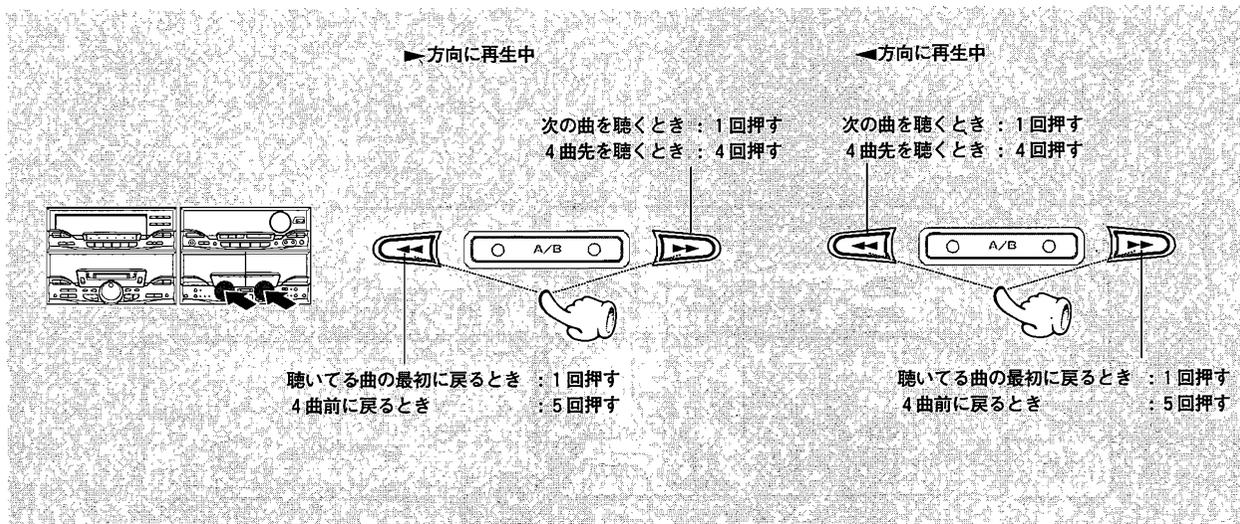
テープカウンターを 0000 にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。



- カウンター部の表示は、本体のディスプレイDISPLAYキーで切り換えができます。

飛び越し選曲 (DPSS)

DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)で、4秒以上の無録音部分を「曲間」として探し出して、曲の頭出しをしたり、途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生することができます。最大16曲まで飛び越せます。

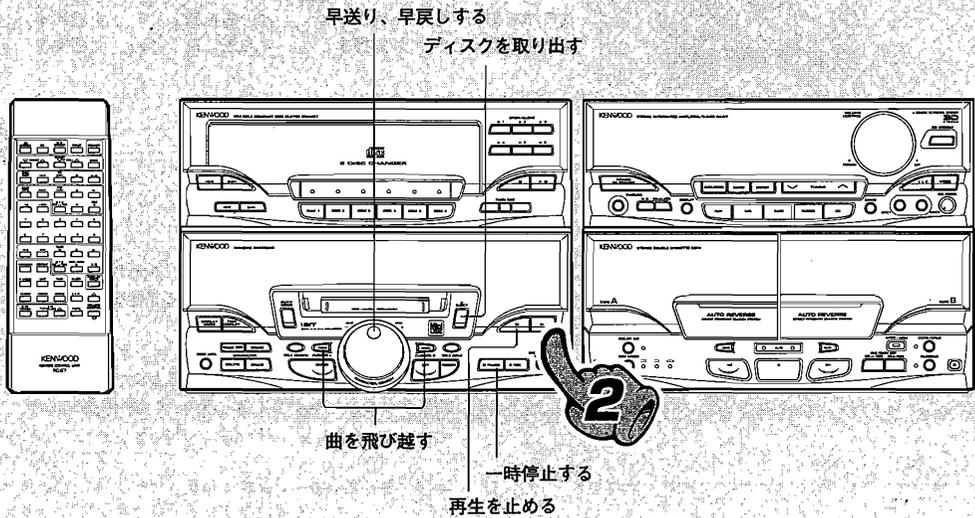


次のようなテープでは、DPSS機能が正しく働かないことがあります。

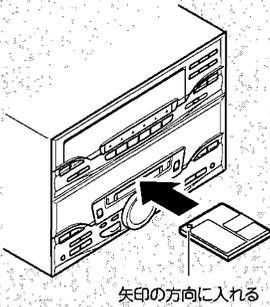
- 会話、落語などで音声が入りが途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ

ミニディスク

MDを聴く



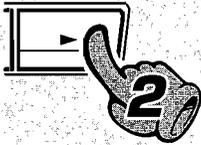
1. ミニディスクを入れる



軽くディスクを差し込むと自動的にディスクが引き込まれます。

●ディスクや曲にタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

2. 再生をはじめる



1曲目から聴く場合

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。

曲を選ぶ場合

数字キーを押す順序は

23曲目なら

..... **+10** **+10** **3**

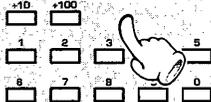
40曲目なら

..... **+10** **+10** **+10** **+10** **0**

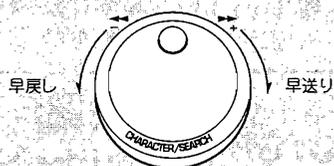
●"^{プログラム}PROGRAM"表示が点灯しているときは、リモコンの**P.MODE**キーを押して消灯させてください。

●"DISC READING"の点滅中にディスクにない曲を選ぶと、ディスクの最後の曲を再生します。

リモコン

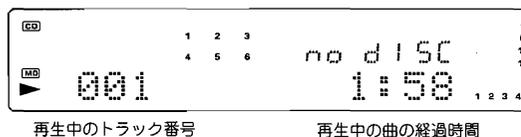
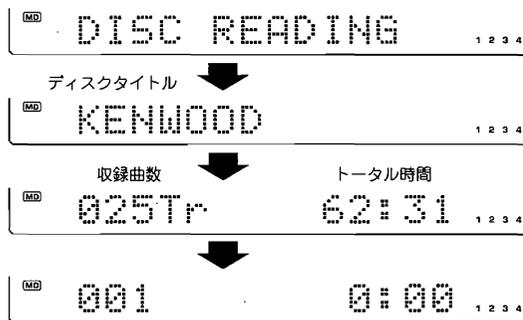


早送り、早戻しする



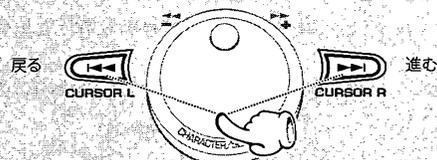
- 操作を止めた所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲の最初になると、その曲を再生します。
- シヨグダイヤルを回し続けると、約2秒後に高速になります。(シヨグダイヤルを回す早さで、サーチの速度を調節することはできません)

表示が変わります



イコライザーや3Dレベルの効果をかけて録音したMDは、効果をかけずに再生してください。

曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。(再生開始後1秒以内に押すと、前の曲の最初に戻ります。)

一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める



ディスクを取り出す



- ディスク挿入口に、ディスクが出てきます。

⚠ 注意

レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起すことがあります。



モノラル録音されたディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

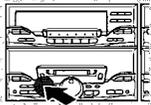
聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)

① "PROGRAM"表示を消灯させる



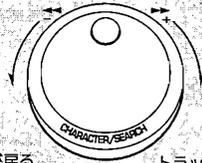
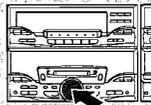
停止中に押す

② TITLE SEARCHキーを押す



中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

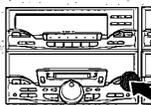
③ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ



トラック番号が戻る

トラック番号が進む

④ 再生を始める

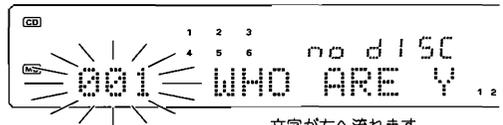


● "PROGRAM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯させる



● タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"TITLE"が表示されます。
● 停止中でも、再生中でも可能です。

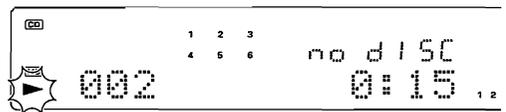


文字が左へ流れます



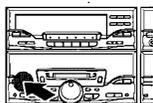
最初に再生される曲

● ◀▶, ▶▶キーでも曲を選ぶことができます。



タイム ディスプレイ TIME DISPLAYキーについて

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中

- ① 再生中の曲の経過時間
- ② 再生中の曲の残り時間
- ③ ディスク全体の録音可能時間

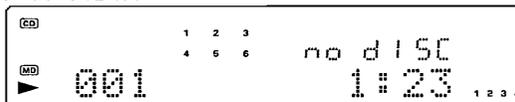
停止中

- ① 再生中の曲の経過時間 (0:00 表示)
- ② 再生中の曲の残り時間 (-0:00 表示)
- ③ ディスク全体の録音可能時間
- ④ ディスク全体の合計記録時間

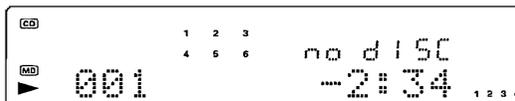
録音中

- ① 録音中の曲の経過時間
- ② ディスク全体の録音可能時間

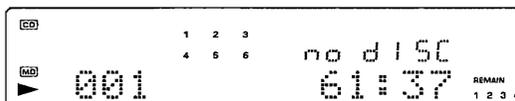
再生中の曲の経過時間



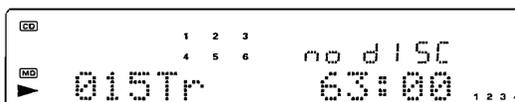
再生中の曲の残り時間



ディスク全体の録音可能時間



ディスク全体の合計記録時間



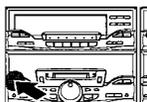
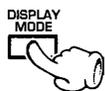
- 1曲も録音されていない場合、「BLANK DISC」と表示されます。
(ディスクタイトルがある場合、「DISC/NO TRACKS」と表示)

ディスプレイ モード DISPLAY MODEキーについて

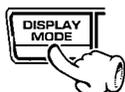
MDのタイトル表示(ディスク名、曲名)のタイプを切り換えることができます。



リモコン



本体

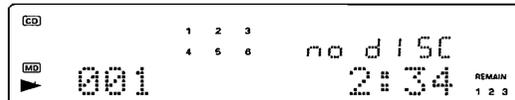


押すたびに切り換わります。

再生中、停止中

- ① 時間表示
- ② トラックタイトル表示
- ③ ディスクタイトル表示

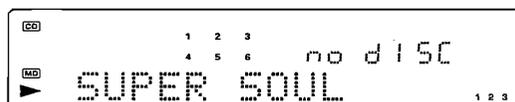
時間表示



トラックタイトル表示



ディスクタイトル表示

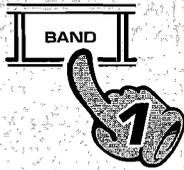
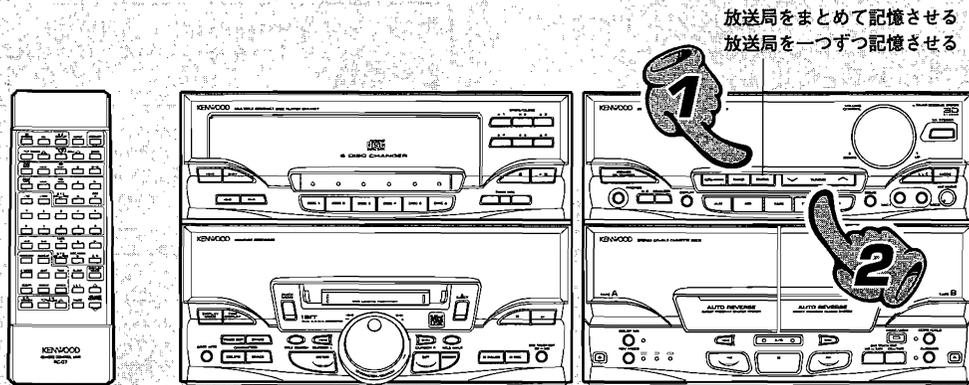


- ②トラックタイトルと③ディスクタイトルは、表示の動いている間(スクロール中)にDISPLAY MODEキーを押して切り換えます。

- 曲名(トラックタイトル)ならびにディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、「*NO TITLE*」が表示されます。

放送を聴く

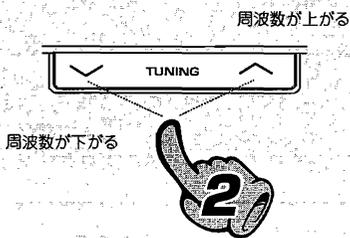
放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。
AMステレオにも対応しています。



1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

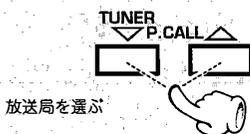


2. 放送局を選ぶ

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき : 押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局のとき : 受信するまで繰り返し押す。または、押したままにする。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)



リモコン

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- △を押すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1
- ▽を押すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....



放送局をまとめて記憶させる(オートプリセット)

ENTERキーを押したままにする(約2秒)



放送局を一つずつ記憶させる(プリセット)

① 受信中にENTERキーを押す

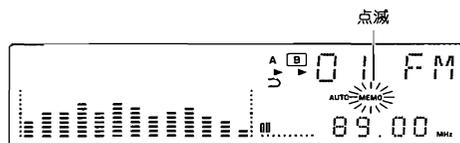


途中で5秒以上放置すると、プリセットは中止されます。

② 1~40の"プリセットナンバー"を選ぶ

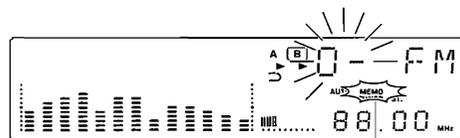


リモコン



周波数が自動的に変わっていきます

- 現在受信しているバンドから、最大40局まで自動的にプリセットされます。

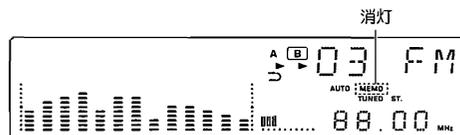


"MEMO"点灯(約5秒間)

数字キーを押す順序は...

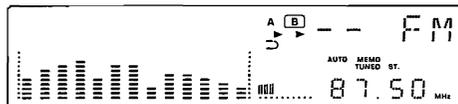
"15"に記憶させるときは: +10 5

"40"に記憶させるときは: +10 +10 +10 0



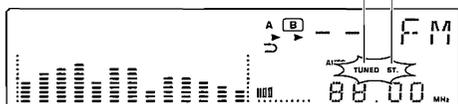
- プリセットを続けるときは、手順①、②を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

放送バンドの表示



ステレオ受信時に点灯

受信すると"TUNED"が点灯



周波数の表示

表示の切り換えについて

ディスプレイキーでアンプ/チューナー部の表示を切り換えることができます。

DISPLAY



押すたびに切り換わります。

- ① 周波数表示
- ② テープカウンター表示
- ③ 時刻表示

- 電源がOFFのときは時刻表示になります。
- 電源をOFFにしたり、入力ソースを切り換えると、表示は初期状態に戻ります。

選局方法の切り換えについて



押すたびに切り換わります。

- ① "AUTO"点灯 (オート選局)
- ② 消灯 (マニュアル選局)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

- 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

テープに録音する (Bデッキのみ)

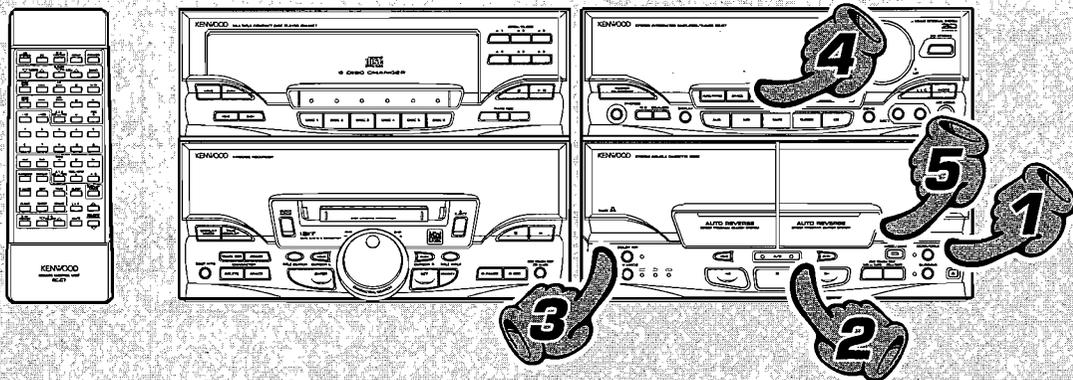


本機はメタルテープ(TYPE IV)での録音はできませんのでご注意ください。

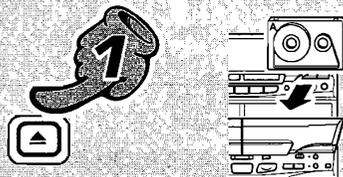


音にイコライザーや3Dレベルの効果かけると、効果のかかった音で録音できます。

— 63 — 65



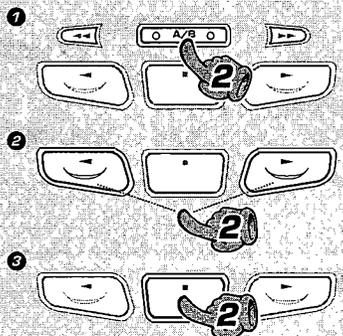
1. Bデッキにテープを入れる



- ① Bデッキのドアを開く
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める

- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。
- ドアは確実に閉めてください。
- マイクを使わない場合は、MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻しておいてください。

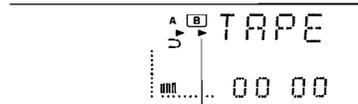
2. テープの進む向きを選ぶ



走行方向を逆にした場合

- ① Bデッキを選ぶ
- ② 希望の方向にテープを再生する
- ③ すぐに停止する

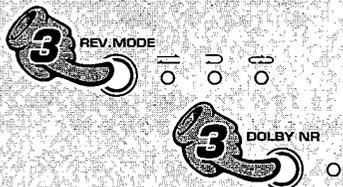
表示部の走行方向表示を確認する



走行方向

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

3. 録音条件を決める

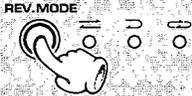


- ① リバースモードを選ぶ
ヒルビートイーズリタクシオン
- ② DOLBY NRを選ぶ

リバースモードを選ぶ

押すたびに切り換わります

REV.MODE



- ① "→" ... 両面を録音して止まる
(◀の方向を選んだ場合、うら面のみ録音されます)
- ② "←" ... 両面を録音して止まる
(▶の方向を選んだ場合、うら面のみ録音されます)
- ③ "→" ... 片面のみを録音して止まる

録音を停止する

●REC/ARM



●キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、停止します。
●キーを押してから4秒以内に再度キーを押すと、その時点から録音を再開します。

ドルビーノイズリダクション

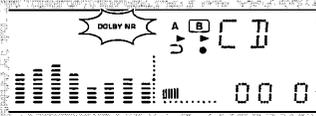
DOLBY NRを選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。
DOLBY NRをONにして録音したテープを再生するときは、DOLBY NRをONにして再生してください。

DOLBY NR



DOLBY NRがONのとき点灯



押すたびに切り換わります。

- ① DOLBY NR 点灯...ドルビーNRを使う
- ② DOLBY NR 消灯...ドルビーNRを使わない

●本機のDOLBY NRは、B typeを使用しています。

4. 何を録音するか選ぶ



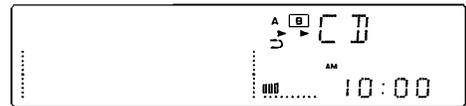
TAPE以外を選んでください。



"便利な録音あれこれ"を利用する場合は、ここまで準備しておきます。

→[45] ~ →[61]

録音したい入力ソースの表示にします。



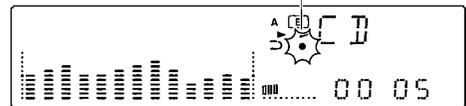
●CD、MDを選んだ場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますのでSTOPキーを押して止めてください。

5. 録音をスタートさせる



- ① 録音を始める
- ② 録音したい入力ソースを再生(受信)する

点灯



- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。
- MDからテープへ録音する場合、録音レベルの自動調整ができます。(3DレベルをONにした場合は、必ず自動調整してください) →[30]
- AUXからテープへ録音する場合、AUX入力のレベル調整で適正レベルを調整してください →[61]

ビートキャンセル機能について

AM放送を録音中に、ピーというビート音が聞こえることがあります。このような場合は、録音中にDEMOキーを押すことにより、ビート音を軽減、または消すことができます。チューナーの録音中以外は、通常のDEMOキーとして働きます。

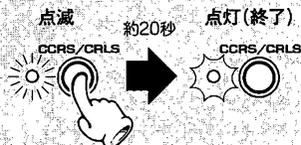
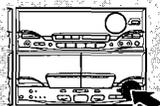


録音レベルを自動調整する (CRLS機能)

CRLS機能は、MDからの録音に限り働きます

① 録音する内容を再生する

② CCRS/CRLSキーを押す



CDを録音するときは、CCRS機能が働いて自動的に録音が始まります。

「フェード編集録音」→51

MDから録音するときのポイント

CRLS設定(インジケータ点灯)後、MDレコーダーのIIキーを押して、MDを一時停止にします。◀◀▶▶キーで録音を始めたい曲を選んでから、もう一度IIキーを押すと、MDの再生とデッキの録音が始まります。

ワンタッチエディット機能を使う場合は、いったん■キーを押してMD、テープとも停止させてください。このときCCRS/CRLSインジケータは消灯しますが、調整結果は記憶されています。

- 約20秒で録音レベルの設定が終了し、録音ポーズ状態になります。
- 設定中(点滅中)に録音を始めると、はずんだ音が録音される場合があります。
- CCRS/CRLSキーを押したときから3秒以上無音が続くと、録音レベルの設定は中止されます。
- 3DレベルがON状態のとき、CRLSの設定中は、3DレベルはOFFになります。

CRLSキーの働きについて

録音したい音声进行分析し、約20秒で自動的に録音レベルを設定します。

一度もキーを押さないと...

当社が設定した基本レベルで録音されます。

キーを押すと...

録音レベルを自動設定し、記憶します。次からはキーを押さなくても同じレベルで録音できます。

キーを押したあとで、前回のレベルに戻すには...

CRLSインジケータの点滅中に■キーを押してください。

基本レベルに戻すには ...

インジケータが消えるまで(約3秒間)キーを押したままにしてください。



テープをコピーする (ダビング)

Aデッキにセットしたテープの内容をBデッキのテープにコピーします。

① 入力切換を"TAPE"にする



② デッキにテープを入れる

③ "⇄" (両面録音) / "⇂" (片面録音) を選ぶ



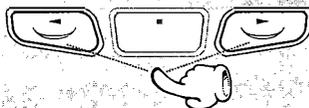
④ テープの進む向きを合わせる

走行方向を逆にしたい場合

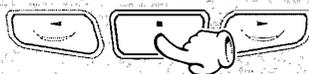
(1) 走行方向を変えたいデッキを選ぶ



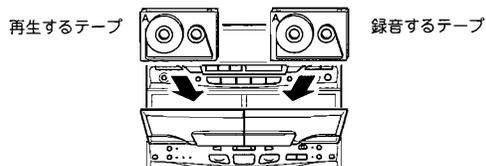
(2) 目的の方向に再生する



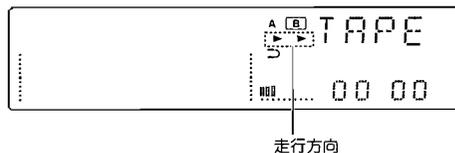
(3) すぐに停止する



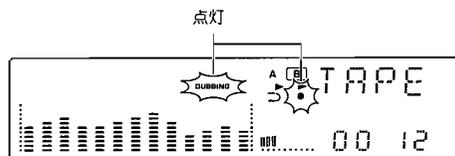
⑤ ダビングをスタートさせる



表示部の走行方向表示を確認する



- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。



- ダビングする面 (片面または両面) が終了すると、自動的に停止します。

ダビングを止めるには



- 約4秒間の無録音部分を作ってから、A、Bデッキとも停止します。
- Bデッキの■キーを押すと、ダビングが停止します。このとき、無録音部分は作られません。



ダビングするときはDOLBY NRは働きません。Bデッキで録音されるテープはAデッキで再生されているテープと同じDOLBY NRになります。

ミニディスク

MDに録音する

本機では、モノラルモードでの録音はできません。

CDからMDに録音するときは、デジタル信号がそのまま録音されます。(デジタル録音)
 CD以外から録音するときは、アナログ信号をデジタルに置き換えてから録音します。(アナログ録音)



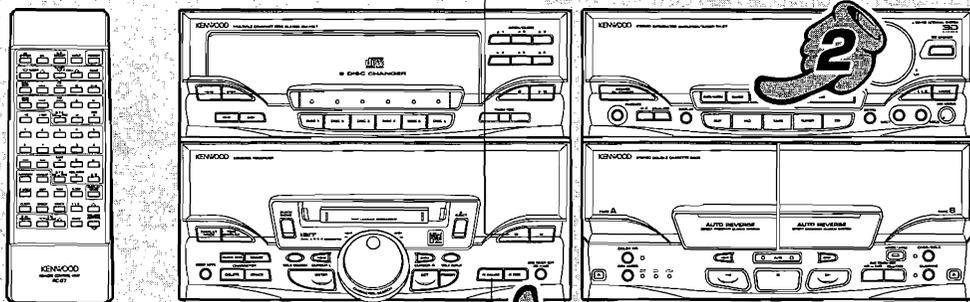
音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。(CDからの録音を除く)

- [63], - [65]

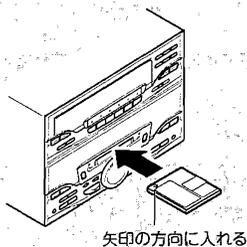
録音を停止する



CDプレーヤー(内蔵のもの)からMDへの録音は、デジタル録音のみとなります。



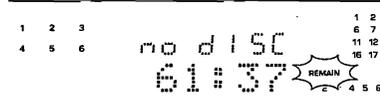
録音を一時停止する



矢印の方向に入れる

1. 録音の準備をする

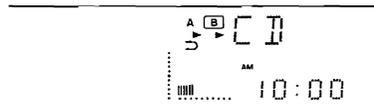
- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする - [76]
- ② ミニディスクを入れる
- ③ 録音可能時間を確かめる - [25]

録音可能時間の表示
(REMAIN表示のとき)

2. 何を録音するか選ぶ



MD以外を選んでください



録音したい入カソースの表示にします

- すでにディスクやテープが入っているときは、再生が始まりますのでSTOPキーを押して止めてください。

3. 録音をはじめ



- ① ● [REC]キーを押す
- ② 録音する音楽ソースを再生する



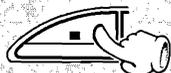
録音が終わったら、必ずディスクを取り出し
てください。

録音を一時停止する



- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- RECキー(●)を押しても録音を始めることができます。

録音を停止する



録音レベルについて

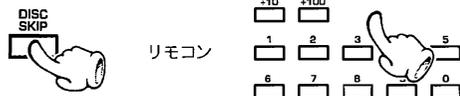
- CD、TAPE、TUNERの機器については、録音レベルを調整する必要がなく、適正なレベルで録音されます。
- AUXに接続した外部機器から録音するときは、外部機器の出力を調整するか、AUX入力のレベル調整で録音中や、録音一時停止状態で、レベルメーターの、赤色のセグメントが点灯しないように、調整してください。
(ときどき0dBのセグメントが点灯するレベルが理想です。)

- 61

CDから録音するときのポイント

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

① 録音したいディスクまたは曲を選ぶ



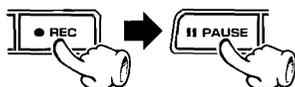
② CDを一時停止にする



③ CDプレーヤーの◀◀キーを1回押す



④ MDレコーダーを録音一時停止にする



⑤ CDの再生を始める



オートマーキング機能について

録音中に音のない状態が2秒以上続いたら、次に音が入ってきたとき、自動的にトラック番号が"1"繰り上がります。

- CDから録音(デジタル録音)する場合、CD上のトラック番号は、そのままMDにコピーされます。
- 一部のクラシック曲など、曲中に無音または極端に音が小さい部分がある場合、トラック番号が繰り上がることがあります。
- トラック番号は、"TRACK DIVIDE"や"TRACK COMBINE"の機能を使って、録音した後でも追加や削除ができます。

ディスプレイのメッセージについて

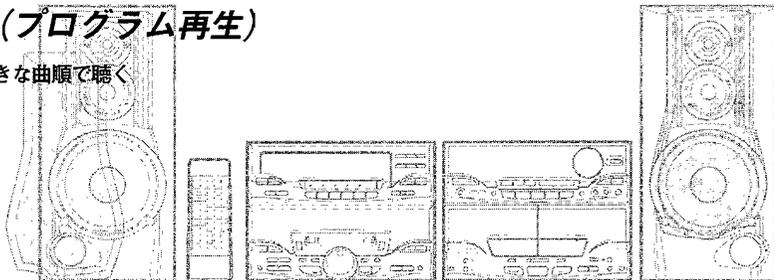
ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ディスクが一杯になっている。
→ 不要な曲を消す。 - 57
- "SCMS CAN'T REC": SCMSによってデジタル録音禁止になっている。
→ 録音できません。 - 76

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

トレイに入れたディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

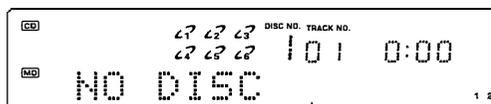


入力切替を"CD"にする

1 停止状態を確認する



再生中のとき



2 "PROGRAM"表示を点灯させる

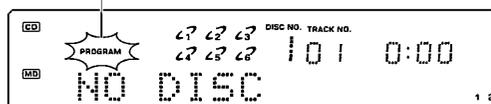
プログラム



P.MODE



点灯



3 聴きたい順に曲を選ぶ

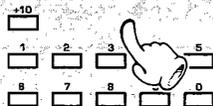


① ディスクを選ぶ



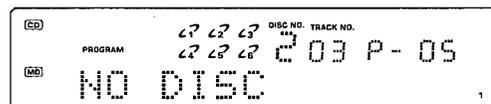
8秒以内に
手順②へ

② 曲を選ぶ



2枚以上のCDから曲を選ぶときは、①と②を繰り返してください。

- ^{ディスク}DISC 1~^{ディスク}DISC 6キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 1枚のCDを全曲プログラムするときは、ディスクを選んだ後、曲を選ばずに次のディスクを選ぶか、または約8秒待ちます。
- 間違えたときは、P.MODEキーを押してプログラムモードを解除し、手順②からやり直してください。



数字キーを押す順序は

23曲目なら ... **+10 +10 3**
40曲目なら ... **+10 +10 +10 +10 0**



4 再生する



- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に **◀◀** または **▶▶** キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に **◀◀** キーを1回押すと、その曲の最初にに戻ります。

オートスペース機能について (リモコンのみ)

カセットを再生するときに便利な機能です。CDのプログラム中にSPACEキーを押すと、曲間に数秒間の無録音部分が作られます。この状態でカセットに録音すれば、DPSS機能(無録音部分を探す)を使って、テープの頭出しが確実にこなえます。

- 前曲と次曲の演奏が繋がっている場合(クラシックやライブ収録など)、別々の曲番号がついていれば無録音部分が作られます。
- 解除するときは、P.MODEキーまたはもう一度SPACEキーを押してください。

再生を止める



曲順を確かめる



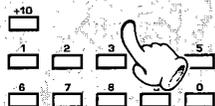
曲を追加する

① ディスクを選ぶ



8秒以内に
手順②へ

② 曲を選ぶ



- 押すたびに、プログラムした曲順(P-N0)と、ディスク番号が順に表示されます。
- 表示中に曲を選ぶと、プログラムの変更ができます。(再生中の曲を除く)
- 数秒後に、元の表示に戻ります。

- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

後ろから順に消していく



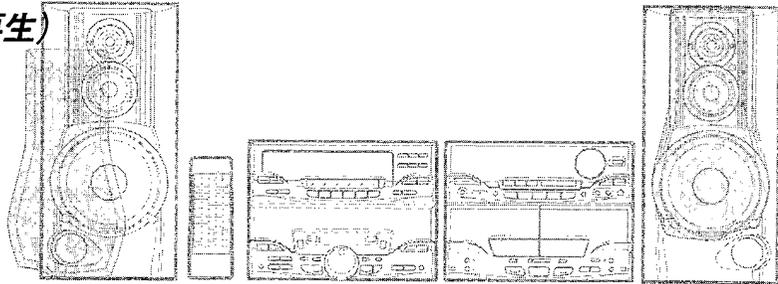
全部消す



- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- そのとき聴いている曲は取り消せません。

- ディスクトレイを開けたときも、プログラムの内容が全部消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)



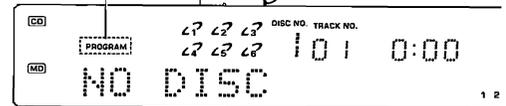
入力切換を"CD"にする

すべてのディスクを繰り返し聴く

- プログラム
- ① "PROGRAM"表示の消灯を確かめる

"PROGRAM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる



- リピート
- ② "REPEAT"表示を点灯させる

押すたびに切り換わります。

点灯

REPEAT



- ① REPEAT
② リピート解除



- ③ 再生を始めたディスクを選ぶ

DISC SKIP



繰り返し再生を止めるには

もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。
- ディスクトレイを開けたときも、リピート再生は解除されます。

選んだ曲だけを繰り返し聴く

- ① 「曲順を並べ替えて聴く」の①～③の手順で、曲順をプログラムする

- 34 -

- ② "REPEAT"表示を点灯させる

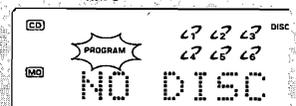
押すたびに切り換わります。

点灯

REPEAT



- ① REPEAT
② リピート解除



- ③ 再生する



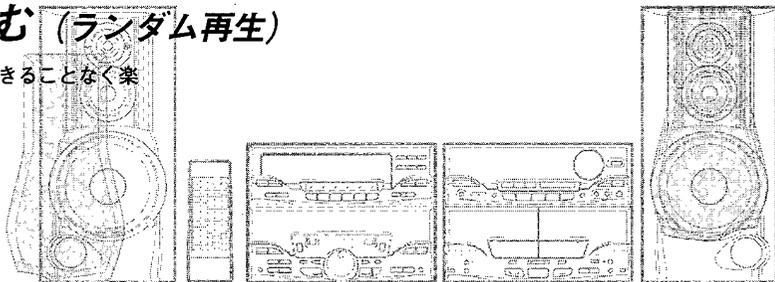
繰り返し再生を止めるには

もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。
- ディスクトレイを開けたときも、リピート再生は解除されます。

予期しない曲順を楽しむ (ランダム再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。



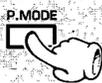
入力切換を"CD"にする

プログラム

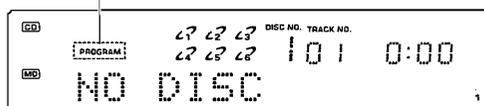
1 "PROGRAM"表示の消灯を確かめる



"PROGRAM"表示が点灯しているときは、
P.MODEキーを押して消灯させてください。



消灯を確かめる



2 RANDOMモードを選ぶ

ランダム

1枚のディスク

全てのディスク

① ディスクを選ぶ



②



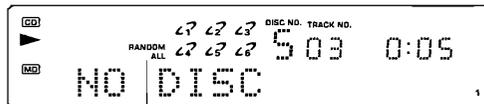
ランダム
RANDOM ONE
を選ぶ

ランダム
RANDOM ALL
を選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① RANDOM ONE ... 1枚のディスクからランダム再生する
- ② RANDOM ALL ... すべてのディスクからランダム再生する
- ③ 消灯 ランダム再生解除

ディスク5の3曲目が選ばれたとき



"RANDOM ONE/RANDOM ALL" の表示

- 1曲終わるごとにトラック番号表示が点滅し、次の曲を再生します。
- ディスク全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダムプレイが繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには



● 1<<<キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生を止めるには



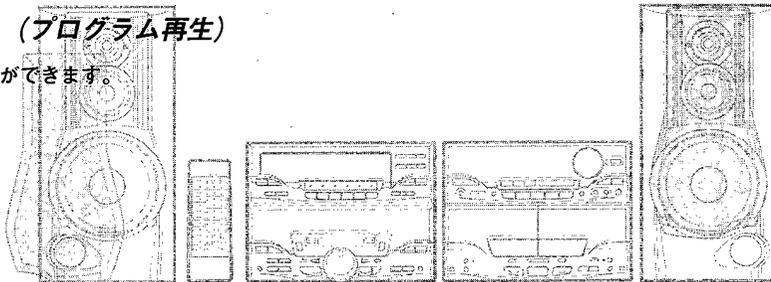
"RANDOM"表示を消灯させる



● "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。
(最大25曲)



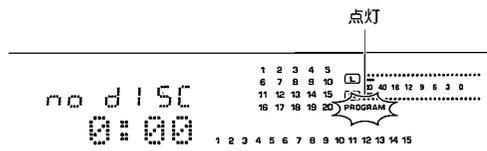
入力切換を"MD"にする

プログラム

1 "PROGRAM"表示を点灯させる

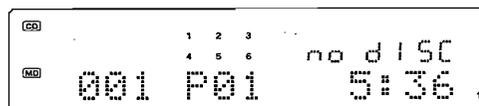
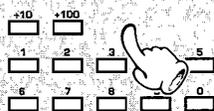


停止中に押す



2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

聴きたい曲番号を順に選ぶ



選ばれた曲のプログラム順位

合計時間

数字キーを押す順序は

23曲目なら: [+10] [+10] [3]

40曲目なら: [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

- 25曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときは**CLEAR**キーを押してから選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が200分以上になると、時間表示が"---:--"になります。

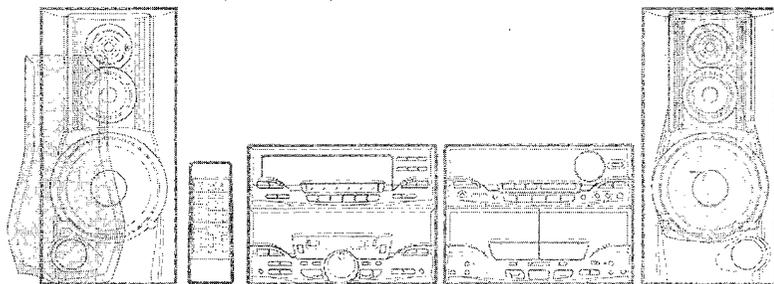
3 再生する



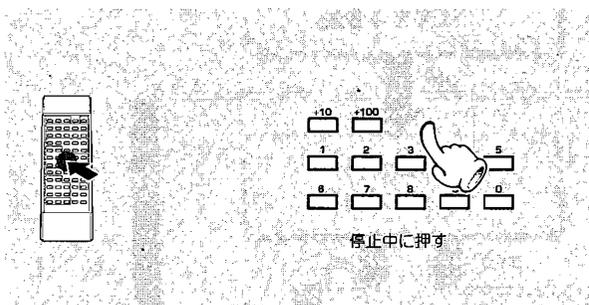
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ1曲び越します。

再生を止めるには



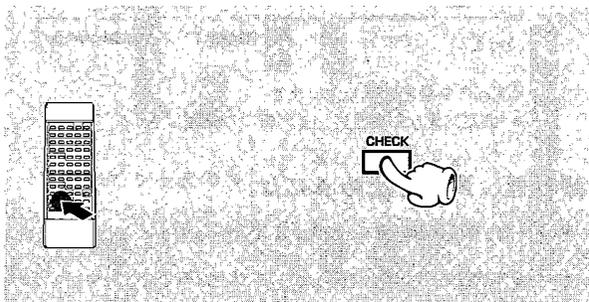


曲を追加するには

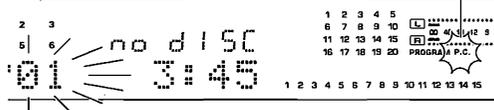


- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されま
す。

曲順を確かめるには

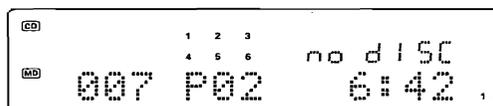
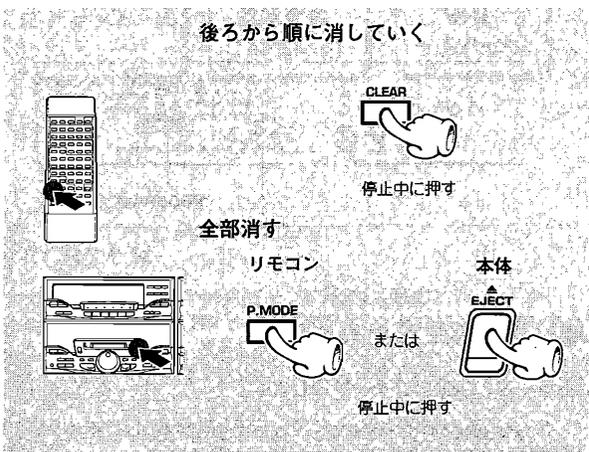


"P.C."(プログラム
チェック)表示点灯



- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには

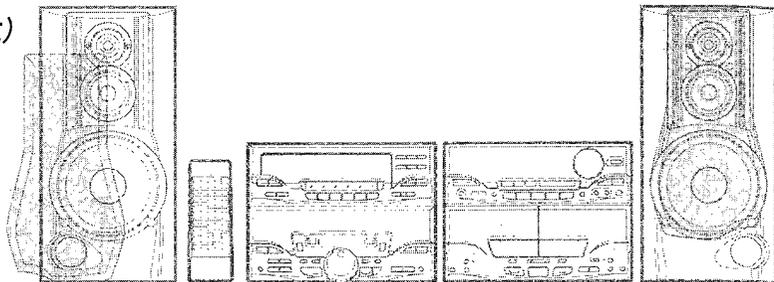


取り消されたプログラム番号

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

- プログラムの内容が、全部消えます。

繰り返し聴く (リピート再生)



入力切換を"MD"にする

選んだ曲だけを繰り返すには

① 繰り返す曲を選ぶ

プログラム

① "PROGRAM"表示を点灯させる

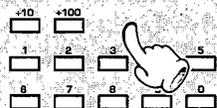


P.MODE



停止状態で押す

② 順に曲を選ぶ



② "REPEAT"表示を点灯させる

リピート



REPEAT



③ 再生する



"REPEAT"、"PROGRAM"点灯

- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

繰り返し再生を止めるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、プログラム再生になります。

ディスク全体を繰り返すには

① "PROGRAM"表示を消灯させる



P.MODE



停止状態で押す

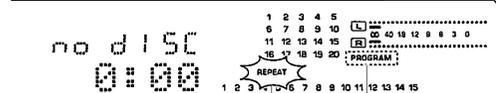
② "REPEAT"表示を点灯させる



REPEAT



③ 再生する



"PROGRAM"消灯
"REPEAT"点灯

繰り返し再生を止めるには

もう一度、REPEATキーを押します。

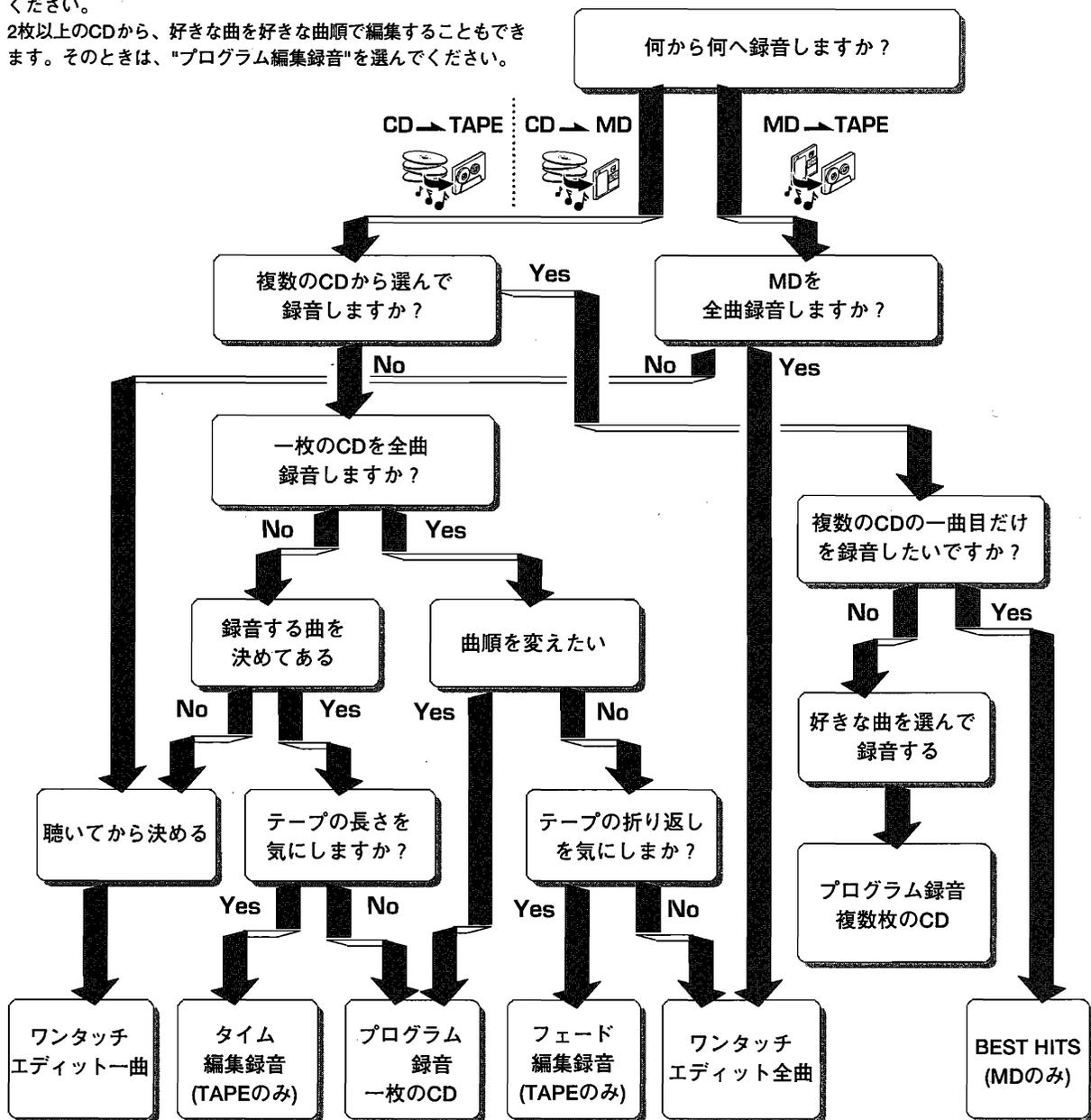
- "REPEAT"表示が消灯し、曲番号順の再生になります。

録音のタイプを選ぶ

便利な録音機能が、多数用意されています。用途に応じて選んでください。

2枚以上のCDから、好きな曲を好きな曲順で編集することもできます。そのときは、「プログラム編集録音」を選んでください。

START!!



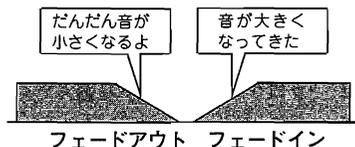
CCRSとは

CDをワンタッチでカセットテープに録音する機能です。CCRS/CRLSキーを押すと、約60秒間で(CDの内容によって差があります)、CDの内容と、使用するテープの特性を調べて、録音レベルが自動的に設定され、録音が始まります。録音が終了すると、自動的に停止します。電源をOFFにしたり、CDを停止すると設定は解除されます。

便利な機能

- ツイン レコーディング
TWIN RECORDING機能 : CDからMDとテープへ同時に録音する機能です。CD1枚ぶんを全曲、CDの曲順で録音します。 → 45
- ベスト ヒッツ
BEST HITS機能 : セットされている全てのCDの1曲目を、順にMDへ録音する機能です。 → 46
- デジタル/アナログ独立録音機能 : CDをMDに録音しながら、他のソースを聴いたり、テープへ録音する機能です。 → 46

フェードイン/フェードアウトとは

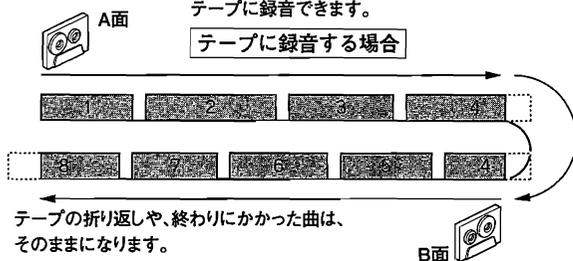


フェードアウト : だんだん音を小さくして曲が終わること
 フェードイン : だんだん音を大きくして曲が始まること



A 1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音) - 43

CD1枚、またはMDの全曲を、ワンタッチで録音します。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。



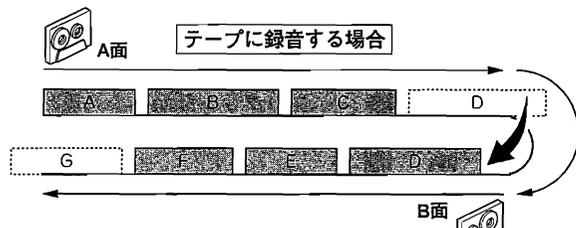
B いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音) - 44

CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで、今聴いている曲だけを、始めから録音できます。

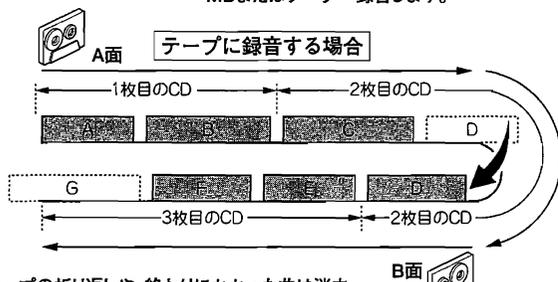
CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。

C 1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→^{テープ}TAPE) - 47 (CD→MD) - 48 (プログラム録音)

1枚のCDから プログラムした曲順でCDからMDまたはテープへ録音します。

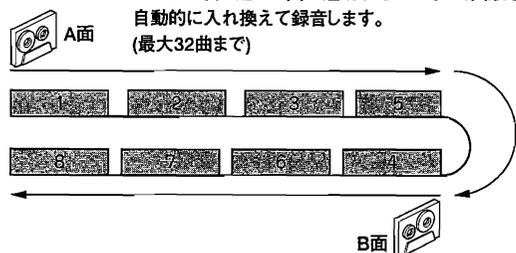


2枚以上のCDから 複数のCDから、好きな曲だけを選んでCDからMDまたはテープへ録音します。



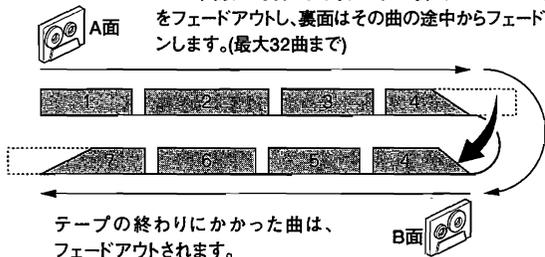
D テープの長さに応じて曲順を入れ替える (CD→TAPEのみ) (タイム編集録音) - 49

テープの折り返しで曲が途切れないように、曲順を自動的に入れ替えて録音します。(最大32曲まで)



E テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする (CD→TAPEのみ) (フェード編集録音) - 51

CDの曲順で録音します。テープの折り返しにかかる曲をフェードアウトし、裏面はその曲の途中からフェードインします。(最大32曲まで)



1枚のCD、MDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)

CD (1枚) またはMDの全曲を、ワンタッチで録音できます。
CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープへ録音します。



曲順をプログラムしておけば、プログラム順に録音されます。

→ 34, → 38

音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果の
かかった音で録音できます。(CD→MDを除く)

→ 63, → 65



3DレベルがON状態のとき、CDおよびMDからテープへ
の録音は、CCRS/CRLSを使用した録音方法をお勧め
します。

→ 47, → 49, → 51

1 録音の準備をする

テープ CD→TAPEのとき

- ① Bデッキにカセットテープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "D" (両面録音) を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる

→ 28

MD→TAPEのとき

- ① Bデッキにカセットテープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確認する
- ③ "D" (両面録音) を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUTキーで"MD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる

→ 28

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能な
ディスクを入れる
- ② INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 録音を始める



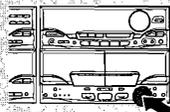
CDプレーヤー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

CD→TAPEのとき

- ① 目的のディスクを選ぶ



- ② 録音を始める

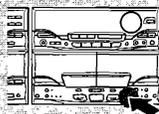


CDの再生が始まる
前に押す

MD→TAPEのとき



停止中に押す

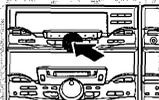


CRLS機能を使うと、最適な録音レベ
ルを自動設定できます。

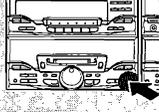
→ 30

CD→MDのとき

- ① 目的のディスクを選ぶ



- ② 録音を始める



CDの再生が始まる
前に押す



再生が始まってからONE TOUCH EDITキーを押すと、そ
の曲だけ録音されます。

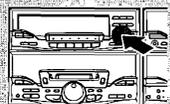
→ 44

●CD→MDの録音の場合、(ワンタッチエディット全曲録音)録音
中でも放送やテープの再生、録音ができます。

●テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイド
テープのふんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように
録音したいときは、他の録音方法をご利用ください。

録音を途中でやめるには

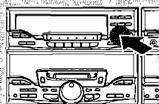
CD→TAPEのとき



MD→TAPEのとき



CD→MDのとき



●録音、再生ともに停止します。

いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

CDやMDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。CDからはテープまたはMDへ、MDからはテープに録音できます。



音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果のなかった音で録音できます。(CD→MDを除く)

- [63], - [65]



3DレベルがON状態のとき、CDおよびMDからテープへの録音は、CCRS/CRLSを使用した録音方法をお勧めします。

- [47], - [49], - [51]

1 録音の準備をする

テープ CD→TAPEのとき

- ① Bデッキにカセットテープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "☰"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ⑥ CDプレーヤーにディスクを入れる

- [28]

MD→TAPEのとき

- ① Bデッキにカセットテープを入れる
- ② テープの動く向き(◀▶)を確かめる
- ③ "☰"(両面録音)を選ぶ
- ④ ドルビーノイズリダクションを選ぶ
- ⑤ INPUTキーで"MD"を選ぶ
- ⑥ MDレコーダーにディスクを入れる

- [28]

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに、録音可能なディスクを入れる
- ② INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDまたはMDを再生する

3 録音したい曲の再生中に、ワンタッチエディット ONE TOUCH EDITキーを押す

CD→TAPEのとき



MD→TAPEのとき



CRLS機能を使うと、最適な録音レベルを自動設定できます。

- [30]

CD→MDのとき



●再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

録音が終了すると.....

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

再生側の機器(CDプレーヤーまたはMDレコーダー)は、一時停止になります。

他の曲を録音するには.....手順 ④, ⑤ を繰り返してください。



録音を途中でやめるには

CD→TAPEのとき



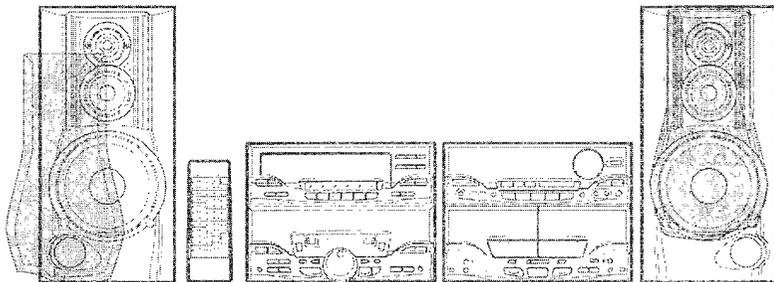
MD→TAPEのとき



CD→MDのとき



●録音、再生ともに停止します。

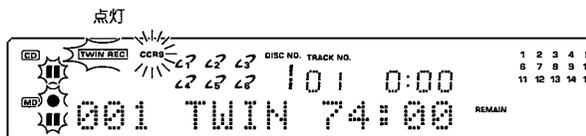
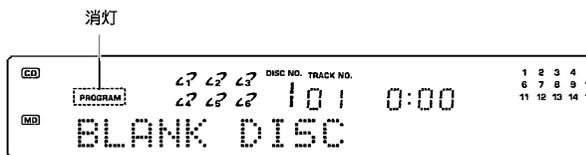
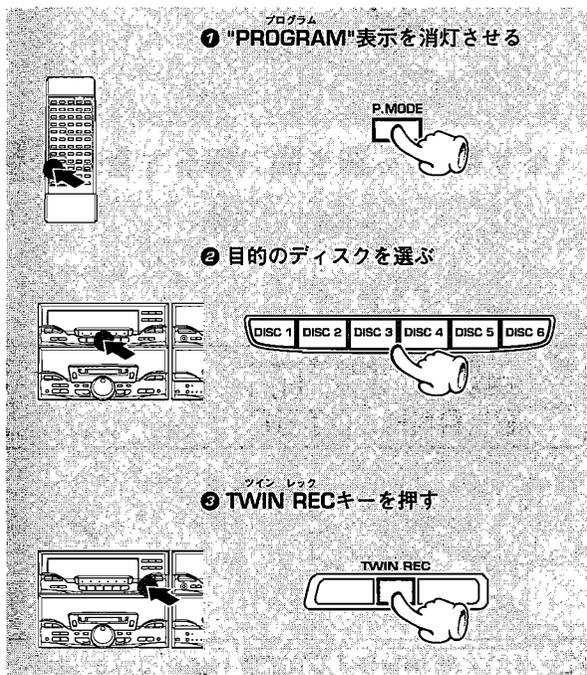


録音の準備が必要です



ツイン レコーディング
TWIN RECORDING機能

CDから、MDとテープに同時に録音する機能です。CD 1枚ぶんの全曲を、CDの曲順で録音します。



- 約60秒間で(CDの内容によって差があります)録音レベルの調整が行なわれた後、録音が始まります。
- テープの折り返しで曲が途切れないように、自動的に処理が行われます。この処理の関係で、MD上の曲間に、ごく短い無音部分が挿入される場合があります。

録音を途中でやめるには

CDプレーヤーの■キーを押すと、録音、再生ともに停止します。

応用編



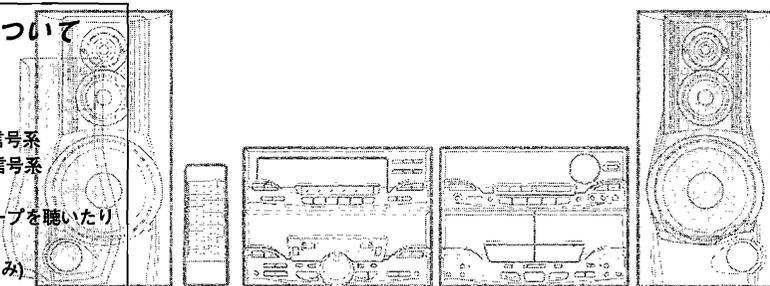
1. CDプレーヤーの再生中に**TWIN REC**キーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. 編集録音するときの録音レベル自動設定には、セットされているCDの、録音レベルの設定に適した部分を利用しています。
3. デッキが片面録音(二)にセットされている場合、テープ折り返し部分の処理は、おもて面だけになります。

デジタル/アナログ独立録音機能について

本機には2系統の録音/再生回路があります。

- ① CD→MDの録音(デジタル録音).....デジタル信号系
- ② CD以外→テープの録音(アナログ録音)...アナログ信号系

このため、CDからMDへデジタル録音をしながら、テープを聴いたり放送をテープに録音することができます。
(ワンタッチエディット全曲録音または、BEST HITSのみ)



録音の準備が必要です



ベスト ヒツ

BEST HITS機能

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順にMDへ録音します。

① 録音の準備をする

- ① 録音可能なミニディスクを入れる
- ② INPUTキーで"CD"を選ぶ
- ③ CDプレーヤーにディスクを入れる
(CDは録音したい順に、トレイ1から入れます)

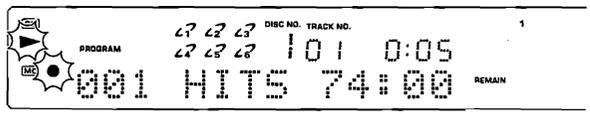
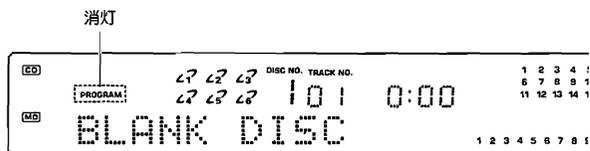
② "PROGRAM"表示を消灯させる



③ BEST HITSキーを押す



停止中に押す



点灯

- BEST HITS機能で録音中に、いずれかのディスクトレイを開けると、録音は中止されます。
- BEST HITS機能を使用すると、録音中でも放送やテープの再生や録音ができます。

録音を途中でやめるには

CDプレーヤーの■キーを押すと、録音、再生ともに停止します。

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→TAPE) (プログラム編集録音)

あなたが選んだ曲順で、テープの折り返しや終端で、曲がとぎれなくように録音します。テープの折り返しにかかった曲を消去し、裏面はその曲の最初から録音します。

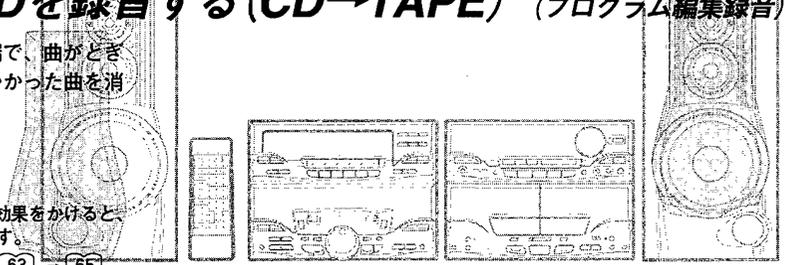


音にイコライザーや3Dレベルの効果を加えると効果のかかった音で録音できます。

- 62 - 65 -

テープ

XL-3MD (L)

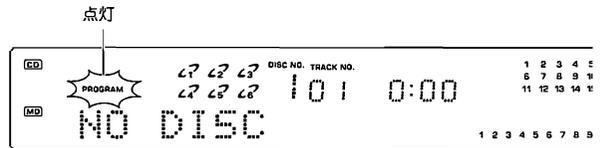
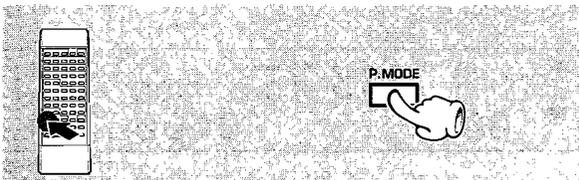


録音の準備が必要です

- 23 -

プログラム

1 "PROGRAM"表示を点灯させる



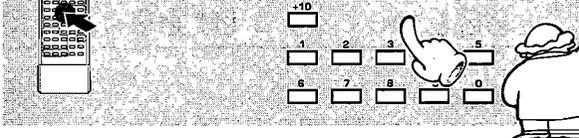
2 録音する順に曲を選ぶ(編集する)

① ディスクを選ぶ



8秒以内に手順②へ

② 曲を選ぶ



数字キーを押す順序は...

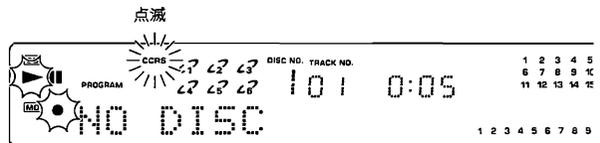
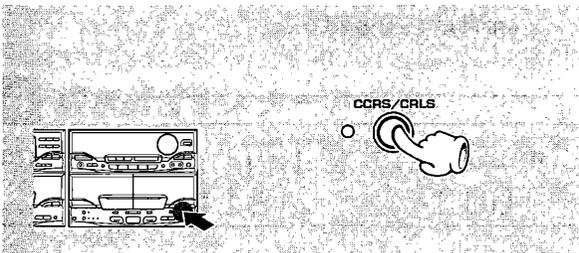
2、5、25曲目を選ぶとき： **2** **5** **+10** **+10** **5**



2枚以上のCDから編集するとき、①と②を繰り返してください。

編集した内容を確認する → 50
編集した内容を取り消す → 50

3 編集録音をスタートする



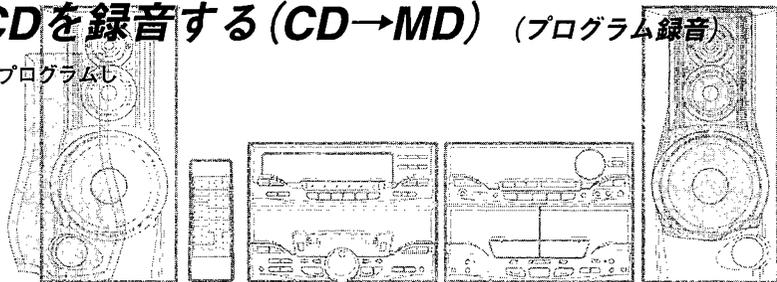
- 使用するテープの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから、選び直してください。
- ディスクを選んで8秒以上たつとCCRS機能は働きませんので、手順①からやり直してください。
- REPEATキーは働きません。



1. CDプレーヤーの再生中にCCRS/CRLSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
3. デッキが片面録音(二)にセットされている場合、テープ折り返し部分の処理は、おもて面だけになります。

1枚または、複数枚のCDを録音する (CD→MD) (プログラム録音)

6枚のディスクの中から好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを1枚のMDに収録することができます。



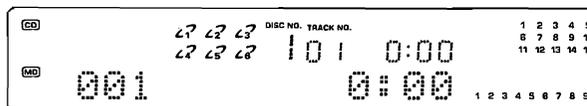
録音の準備が必要です

- 32

1 停止状態を確認する

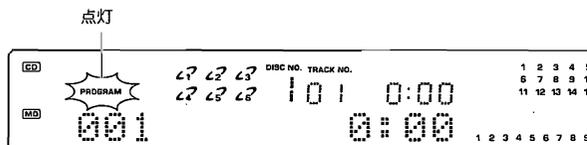


再生中のとき



2 "PROGRAM"表示を点灯させる

プログラム



3 録音する順に曲を選ぶ

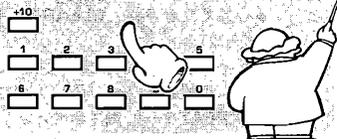


① ディスクを選ぶ



② 曲を選ぶ

8秒以内に手順①へ

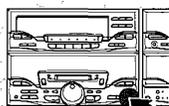


2枚以上のCDから編集するときは、①と②を繰り返してください。

編集した内容を確認する → 50

編集した内容を取り消す → 50

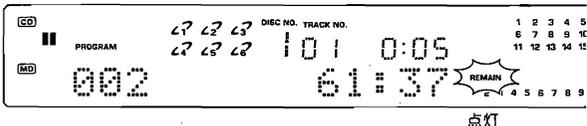
4 録音をスタートする



ONE TOUCH EDIT
CD→MD



デジタル録音のときは → 32



点灯



1. CDプレーヤー(内蔵のもの)からMDへの録音は、デジタル録音のみとなります。
2. 録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。

数字キーを押す順序は...

2、5、25曲目を選ぶとき： **2** **5** **+10** **+10** **5**

- 使用するMDの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから、選び直してください。
- REPEATキーは働きません。

- CDがバンク内で交換中は、MDの録音は一時停止しています。
- MDの収録時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れTAPE録音のような編集機能は、ありませんのでご注意ください。

テープの長さに応じて曲順を入れ替える (CD→TAPEのみ)

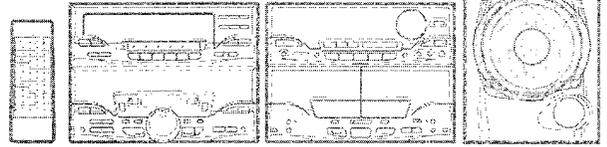
(タイム編集録音)

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返しや終端で曲が途切れないように、自動的に曲順を入れ換えて録音します。



音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。

- [63], - [65]



録音の準備が必要です

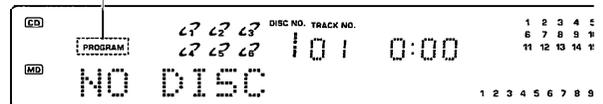
- [28]

プログラム

1 "PROGRAM"表示を消灯させる



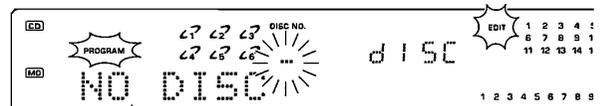
消灯



2 "EDIT"表示を点灯させる



8秒以上放置すると、編集は中止されます。



- オートスペース機能を使うときは、EDITキーを押した後SPACEキーを押して手順②に進みます。オートスペースを解除するときは、P.MODEキーを押し、最初からやり直します。

- [35]

3 ディスクとテープの設定をする

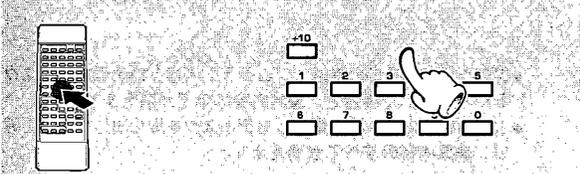
① ディスクを選ぶ



② EDITキーを押す



③ テープの録音時間を指定する



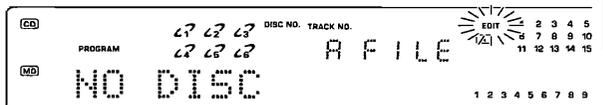
数字キーを押す順序は:

30分テープ (C-30) なら... [+10] [+10] [+10] [0]

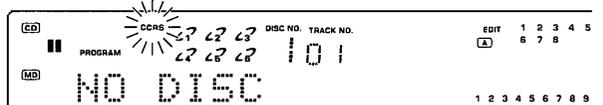
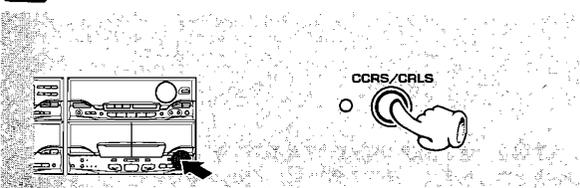
46分テープ (C-46) なら... [+10] [+10] [+10] [+10] [6]

TIMEキーを繰り返し押すと、46,54,60,90分テープを簡単に選べます。(←、→キーで1分単位の調節ができます) 選んだあとは、EDITキーを押してから、手順④へ移ります。

- 録音時間は最大99分です。
- 32曲まで編集録音できます。
- A面、B面の自動編集が行われます。編集が終了すると、"EDIT"の表示が点滅から点灯に変わります。



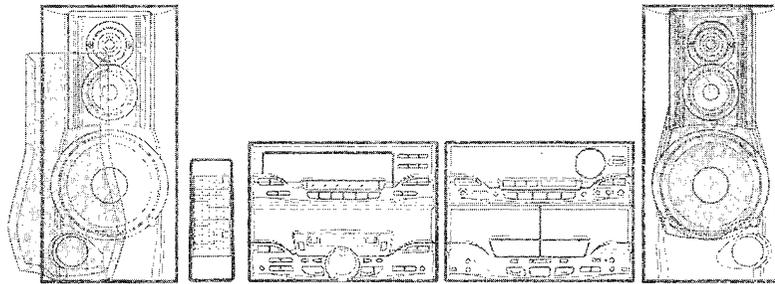
4 編集録音をスタートする



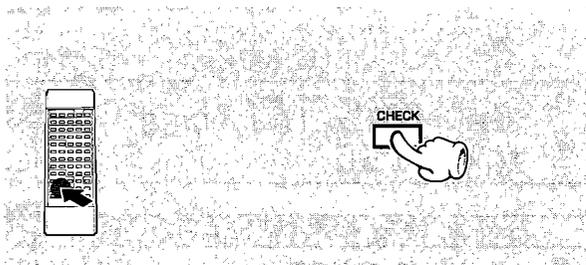
- 約60秒間で (CDの内容によって差があります) 録音レベルの調整が行なわれたのち、録音が始まります。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。



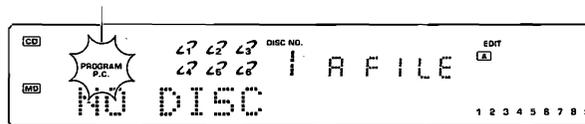
CDの内容 (曲数や曲の長さ) とテープの録音時間など、条件の組み合わせにより、曲順を入れ換えても音の途切れが避けられない場合、その曲は録音されません。



編集した内容を確認する (プログラム録音、タイム編集)

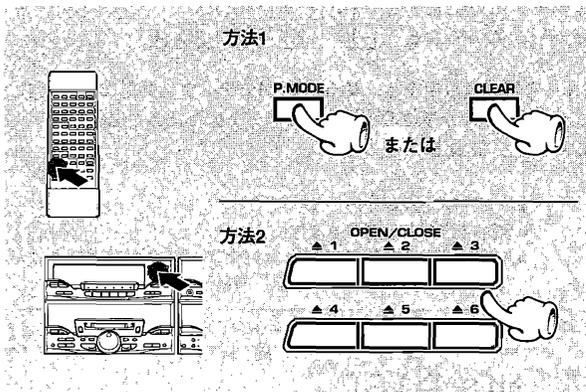


"P.C." (プログラムチェック) 表示点灯



- 編集した曲番号が順に表示されます。
- "P.C."表示は数秒後に消灯します。

編集した内容を取り消す (プログラム録音、タイム編集)



- プログラム録音のときは、**P.MODE**キーを押すと、編集内容の全てが消えます。**CLEAR**キーを押すと、最後の曲から順に消えていきます。
- タイム編集のときは、**P.MODE**キー、**CLEAR**キーのどちらを押しても、編集内容の全てが消えます。

- プログラム録音のときは、プログラム内容と無関係なディスクトレイを開いた場合も、編集内容の全てが消えます。
- タイム編集のときは、編集したディスクを取り出した場合に限って、編集内容のすべてが消えます。

テープの折り返しでフェードアウト/フェードインする(CD→TAPEのみ)

テープの折り返しにかかった曲をフェードアウトし、うら面はその曲の途中からフェードインします。テープ終端にかかった曲は、フェードアウトされます。

(フェード編集録音)



音にイコライザーや3Dレベルの効果かけると、効果のかかった音で録音できます。

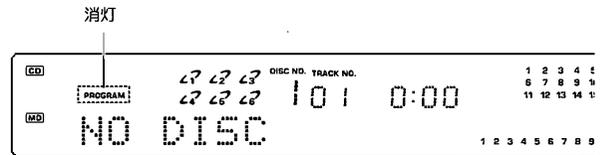
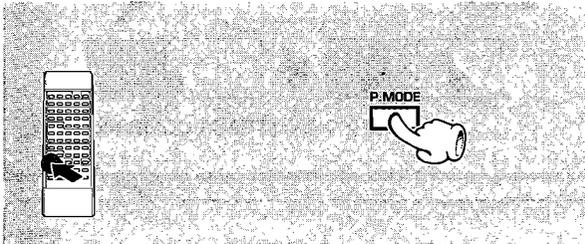
→ [63], → [65]

録音の準備が必要です

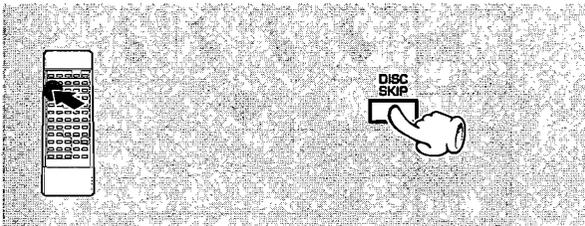
→ [28]

プログラム

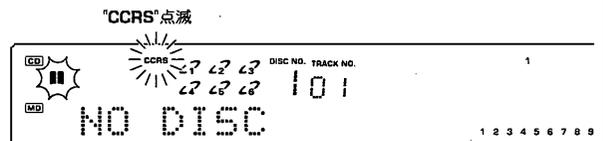
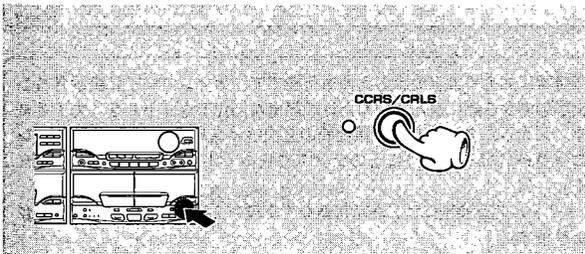
1 "PROGRAM"表示を消灯させる



2 ディスクを選ぶ



3 編集録音をスタートする



- 約60秒で (CDの内容によって差があります) 録音レベルの調整が行なわれた後、録音が始まります。
- CDの曲順で録音されます。
- 録音が終了すると、自動的に停止します。

応用編



1. CDプレーヤーの再生中にCCRS/CRLSキーを押すと、再生は中止され、CCRS設定(編集録音準備)が始まります。
2. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
3. デッキが片面録音(二)にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけになります。
4. テープ終端にかかった曲がフェードアウトされる時、前曲との曲間が短いと、前曲の最後も一部消去されることがあります。

MDの編集機能

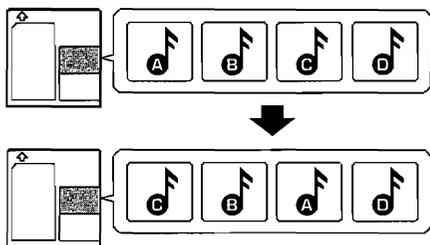
XL-3MD (J)

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) → 53
 曲順を1曲づつ入れ替える (TRACK MOVE) → 54



MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませう、お願いいたします。 → 78

曲の分割と結合

曲の分割 曲を分ける (TRACK DIVIDE) → 55



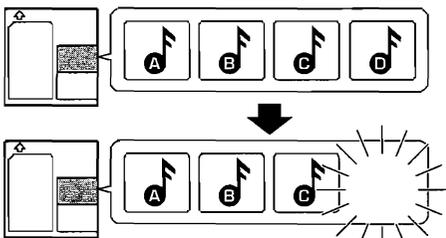
曲の結合



曲をつなぐ (TRACK COMBINE) → 56

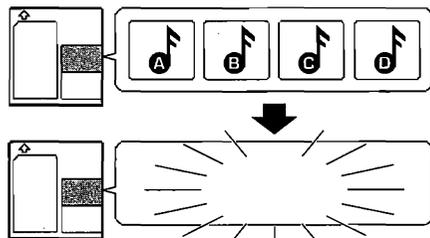
曲の消去

1曲消す



1曲消す (TRACK ERASE) → 57

ディスク全体を消す



全曲消す (ALL ERASE) → 57

ディスクや曲にタイトルをつける

→ 59

英数字に加えてカタカナの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのディスクをセットしたときも表示されます。

(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

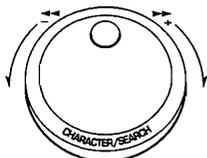
タイトルを変更、消去する

→ 60

表示部のスクロールについて

ディスクや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、ジョグダイヤル(またはリモコンのキー)を続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

本体のみ



スクロールの例

表示される範囲(全体を表示できない)

ABCDEFGHIJKL MNOPQRSTUVWXYZ

スクロール→

ABCDEFGHIJKL MNOPQRSTUVWXYZ

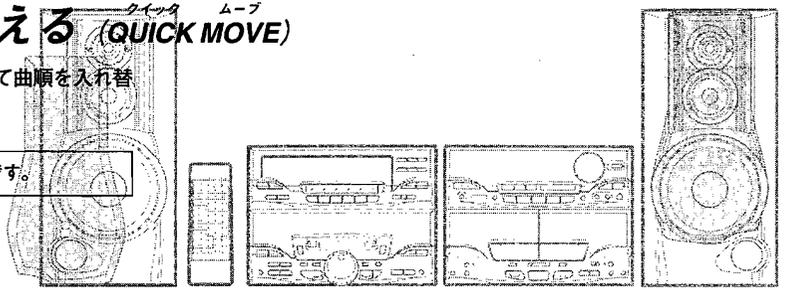
←スクロール

ABCDEFGHIJKL MNOPQRSTUVWXYZ

曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

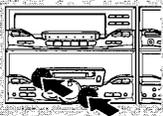
1回の処理で入れ替えられるのは、連続する20曲の範囲です。



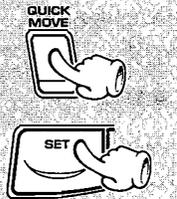
停止中に操作してください

1 QUICK MOVE キーを押す

① QUICK MOVE キーを押す



② 確定する



中止するときは、もう1度QUICK MOVEキーを押します



2 入れ替える範囲を決める

① 入れ替え範囲の最初の曲を選ぶ



② 入れ替え範囲を確定する



3 希望の曲順に並べ替える

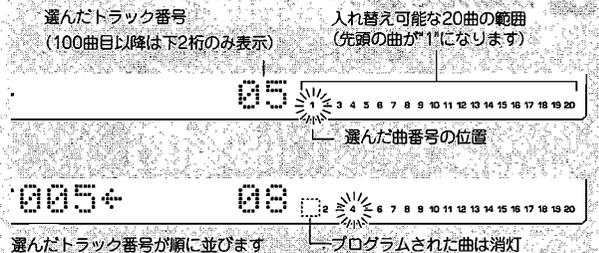
① 曲(トラック番号)を選ぶ



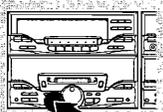
② 確定する



手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。



4 曲順の入れ替えを実行する



5 編集終了後、ディスクを取り出す

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

- CHARACTER DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)
- CURSOR L/R キーで、選んだ曲順の確認ができます。

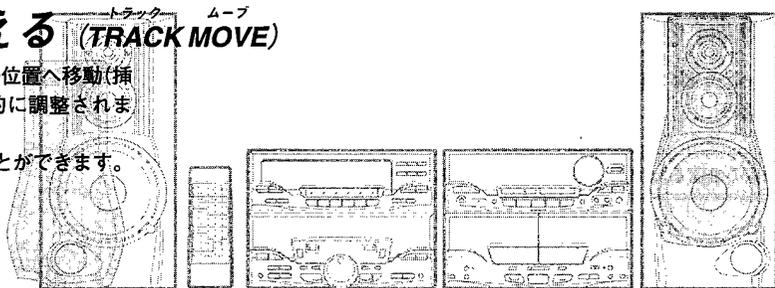
EXECUTE

1 2 3 4 5 6 7 8 9

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ替えの途中でENTERキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- EXECUTE表示の点滅中にイジェクトキー(▲)や、POWERキーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。



停止中に操作してください

トラック ムーブ

1 TRACK MOVEを選ぶ

① "TRACK MOVE"を選ぶ



② 確定する

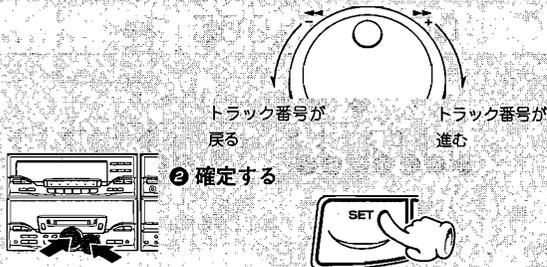
押すたびに切り換わります。

- ① TRACK MOVE (曲順を1曲ずつ入れ替える)
- ② TRACK COMBINE (曲をつなぐ)
- ③ 編集解除



2 移動する曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



トラック番号が戻る

トラック番号が進む

② 確定する



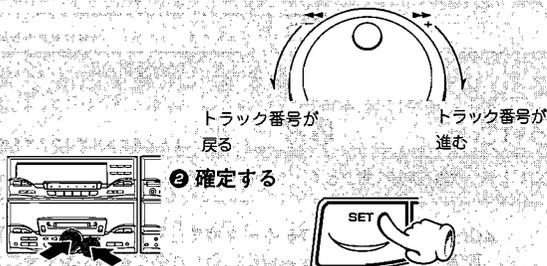
移動させる曲



●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

3 移動先を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



トラック番号が戻る

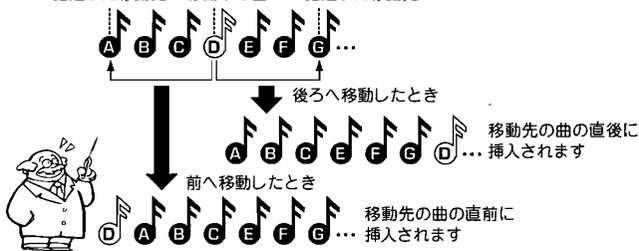
トラック番号が進む

② 確定する



移動先のトラック番号

指定した移動先 移動する曲 指定した移動先



4 曲順の入れ替えを実行する



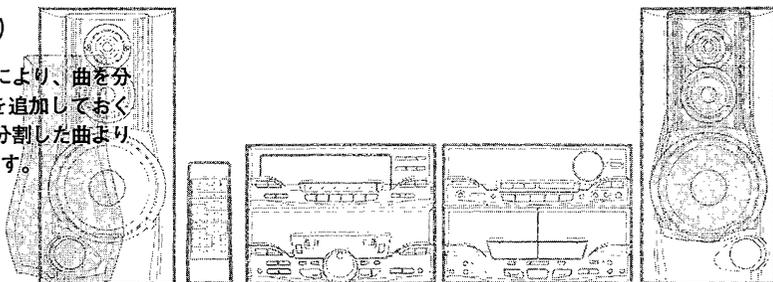
5 編集終了後、ディスクを取り出す

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

トラック ディバイド

曲の途中でトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

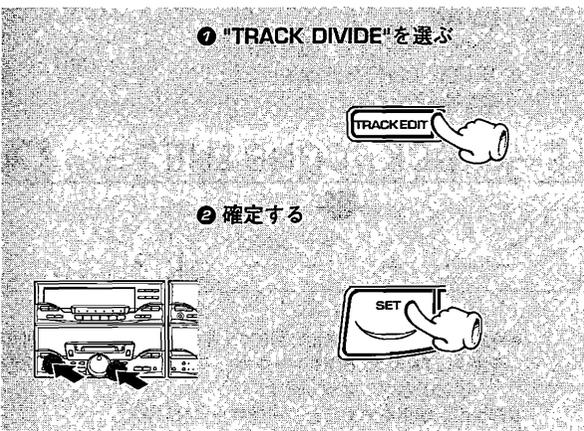


1 分割したい曲を再生する

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

トラック エディット

●再生一時停止中にも編集できます。

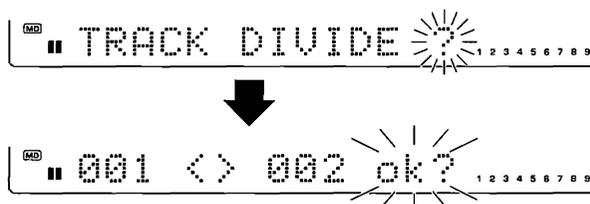


① "TRACK DIVIDE"を選ぶ

② 確定する

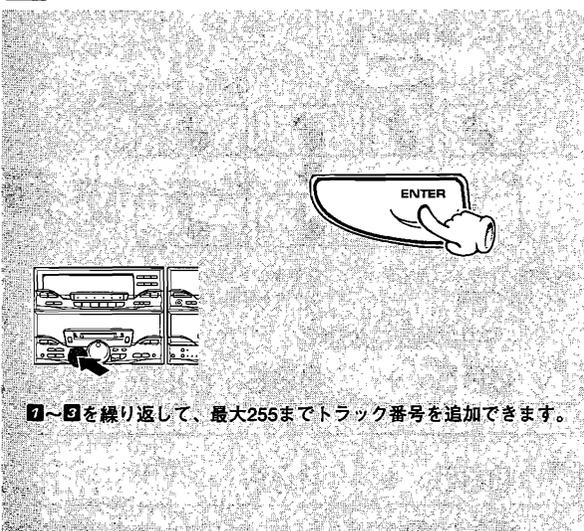
押すたびに切り換わります。

- ① TRACK DIVIDE (曲を分ける)
- ② TRACK COMBINE (曲をつなぐ)
- ③ 編集解除

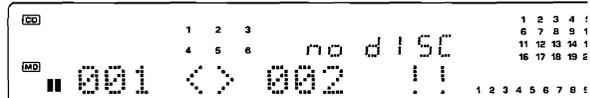
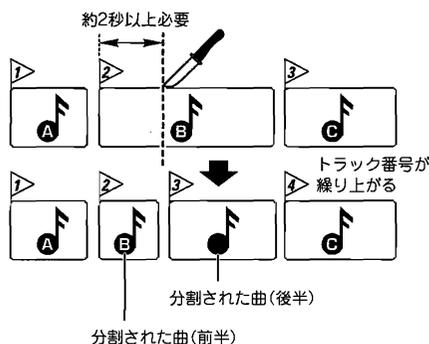


●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

3 曲の分割を実行する



①~③を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。



- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から再生が始まります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。

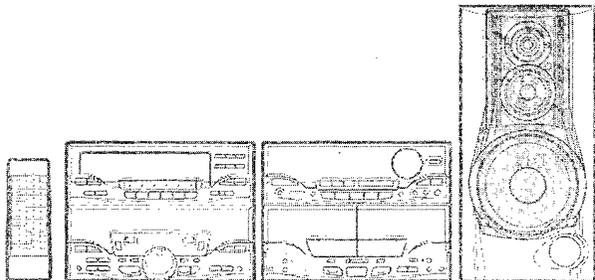
4 編集終了後、ディスクを取り出す

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

ディスクの最後の曲の再生中には"TRACK COMBINE"を選べません。

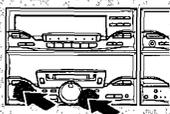


1 "TRACK COMBINE"を選ぶ

① "TRACK COMBINE"を選ぶ



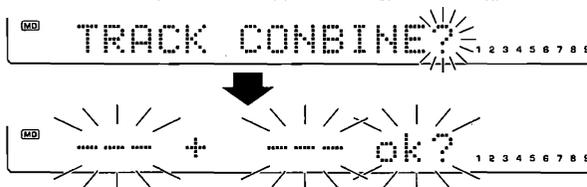
② 確定する



再生中に曲をつなぐ場合は、手順②へ

押すたびに切り替わります。

- 停止中
- ① TRACK MOVE (曲順を1曲ずつ入れ替える)
 - ② TRACK COMBINE (曲をつなぐ)
 - ③ 編集解除
- 再生中
- ① TRACK DIVIDE (曲を分ける)
 - ② TRACK COMBINE (曲をつなぐ)
 - ③ 編集解除



- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中にTRACK EDITキーを押してください。(再生中の曲と、直後の曲がつながります)
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 つなぎたい曲を選ぶ

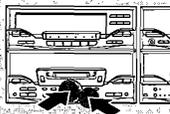
① 曲(トラック番号)を選ぶ



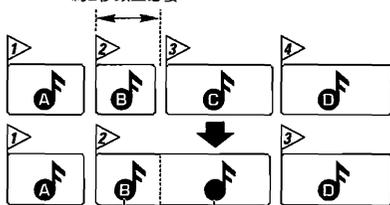
トラック番号が戻る

トラック番号が進む

② 確定する



約2秒以上必要

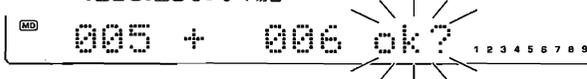


前半部のトラック番号とタイトルが残る

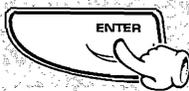
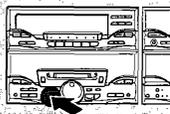
後半部のトラック番号とタイトルは消える

トラック番号が調整される

5曲目と6曲目をつなぐ場合



3 曲と曲の結合を実行する



4 編集終了後、ディスクを取り出す



- 再生中に編集を始めた場合は、その曲から自動的に再生が始まります。

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

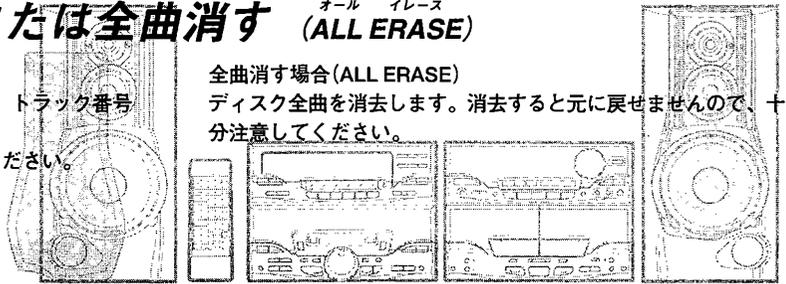
1曲消す場合 (TRACK ERASE)

1曲ずつ消去します。消した曲よりも後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

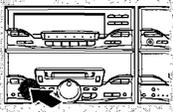
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

全曲消す場合 (ALL ERASE)

ディスク全曲を消去します。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。



1 イレース ERASEキーを押す



停止中に押す



中止するときは、もう一度ERASEキーを押します

再生中にその曲のみ消去することができます。

- ERASEキーを押す。(一時停止状態になります)
- 手順②のように、ENTERキーを押して消去を実行します。

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 消したい曲または"ALL ERASE"を選ぶ

- 曲(トラック番号)または"ALL ERASE"を選ぶ



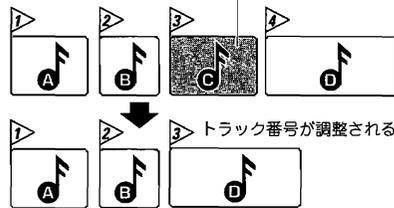
トラック番号
が戻る

トラック番号
が進む

- 確定する



トラック イレース
TRACK ERASEの場合



目的のトラック番号を選びます

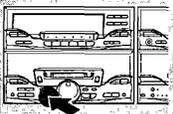


オール イレース
ALL ERASEの場合

"ALL"の表示にします



3 消去を実行する



トラック イレース
TRACK ERASEの場合



- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 再生中に編集を始めた場合、消去した直後の曲から自動的に再生が始まります。

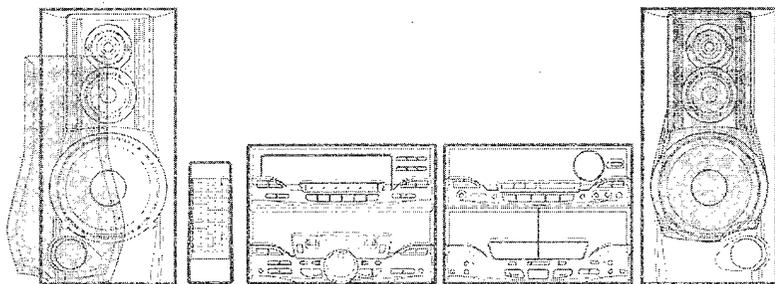
オール イレース
ALL ERASEの場合



- ディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

4 編集終了後、ディスクを取り出す

ディスク取り出しの際の"DISC WRITING"表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



曲の一部を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にする。
- ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。

この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

① 消したい部分を1つの曲にする

曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。



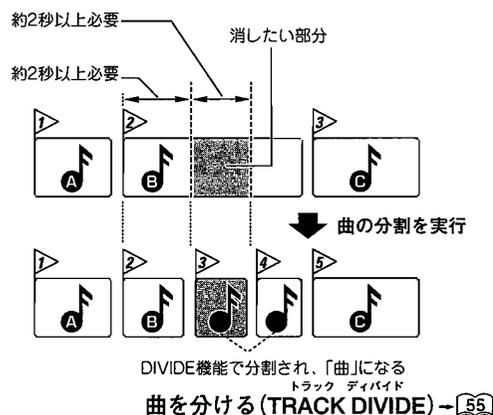
② 消したい部分を消去する

手順①で作った「曲」(消したいところ)を、1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去してください。

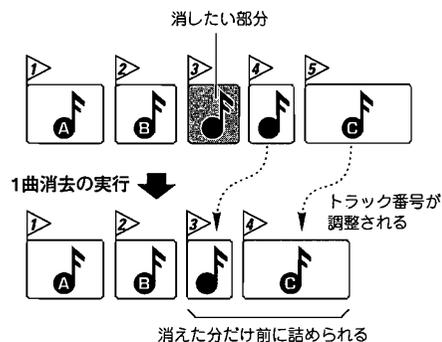


③ 編集終了後、ディスクを取り出す

ディスク取り出しの際の「DISC WRITING」表示は、録音や編集に関連する情報をディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。



- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけTRACK DIVIDEを行なってください。



ディスクや曲にタイトルをつける

ディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

停止、または再生中に操作してください

1 タイトル入力状態にする

① タイトル インプット **TITLE INPUT**キーを押す



② 曲名かディスク名かを選ぶ

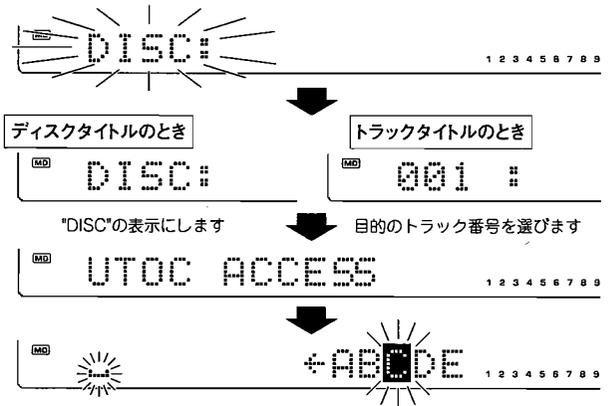


③ 確定する



中止するときは、TITLE INPUTキーを押します。

●ディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



ディスクタイトルのとき

トラックタイトルのとき

"DISC"の表示にします

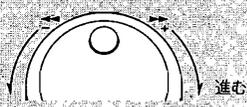
目的のトラック番号を選びます

2 タイトルを入力する

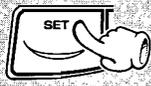
① 入力する文字のグループを選ぶ



② 目的の文字を選択カーソルに合わせる



③ 選んだ文字を確定する



①～③を繰り返して、タイトルを入力します。

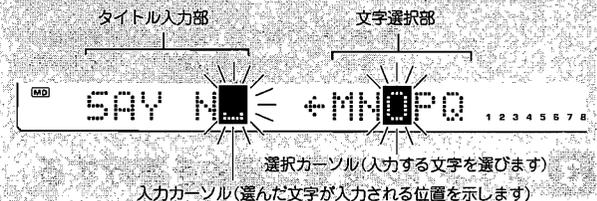
プライオリティ **PRIORITY**キーを押すたびに切り換わります。

- ① A～Z と、スペース(1文字分の空白)
- ② ヨ～Z と、スペース
- ③ 0～9 と、各種記号と、スペース
- ④ カタカナと、スペース



- ジョグダイヤルを回すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- DISPLAY MODE**キーを押すと、1画面(5文字)単位で表示を切り換えることができます。

ディスクタイトルの例



タイトル入力部

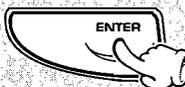
文字選択部

選択カーソル(入力する文字を選びます)

入力カーソル(選んだ文字が入力される位置を示します)

3 タイトル入力を実行する

① タイトルを書き込む



② 終了する



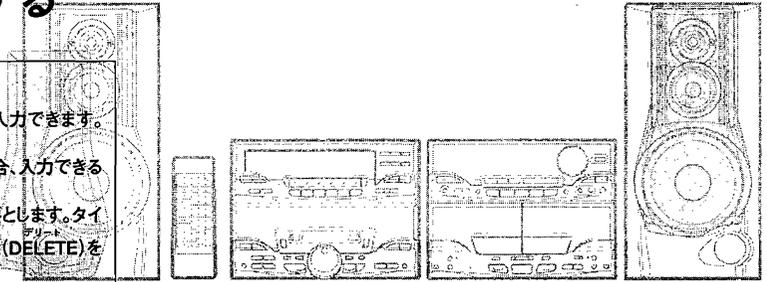
- 入力カーソルは、カーソル **CURSOR L/CURSOR R**キーで移動できます。



タイトルを変更、消去する

入力できる文字数について

ディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナは、1文字あたりのデータ量が多いため、使用した場合、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

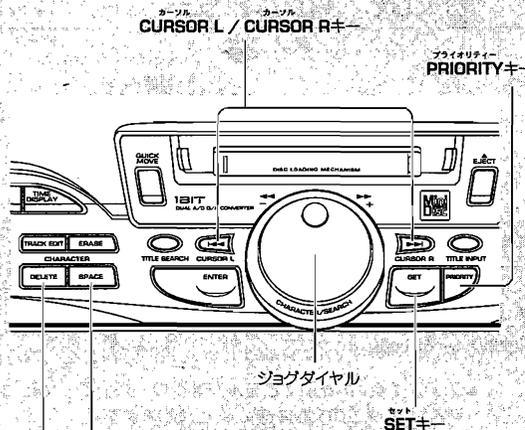


1 "ディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 1 を行なう

- 59

2 1文字ずつ変更または消去していく

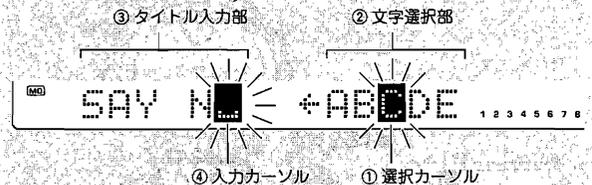
- CURSOR L / R キーで、④入力カーソルを目的の(変更する)文字に合わせて。
- ジョグダイヤルで、目的の(正しい)文字を、①選択カーソルに合わせて。



キャラクター - スペース
CHARACTER - SPACE キー

キャラクター - デリート
CHARACTER - DELETE キー

- SET キーを押すと、選んだ1文字が確定します。この手順の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

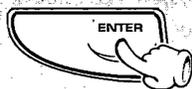


- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、CURSOR L / R キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現れます。

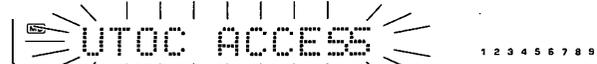
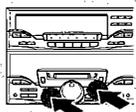
- ジョグダイヤルを回すと表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- DISPLAY MODE キーを押すと、1画面(5文字)単位で表示を切り換えることができます。
- 表示をスクロールしても、目的の文字が出てこないときは、PRIORITY キーを押してください。②文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。
- CHARACTER DELETE キーを押すと、④入力カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し削除する)と、簡単にタイトルを消去できます。
- CHARACTER SPACE キーを押すと、④入力カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)こともできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

3 タイトルの変更、消去を実行する

- タイトルを書き込む



- 終了する



本機では、イコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。

バランスとインプットレベルの調整

バランス 左右の音量バランスを調整します。
 インプットレベル .. AUX入力端子に接続された外部機器 (ビデオデッキ等) からの音量を調整します。外部機器からの音量が大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。

1 何を調整するか選ぶ

5秒以上放置すると音量の調節に戻ります

押すたびに切り換わります。

- ① VOL 通常の音量調節
- ② LEVEL 3Dステレオの効果の強さ
- ③ --- --- 左右の音量バランス
- ④ INPUT AUX入力端子に接続された外部機器からの音量

- "INPUT" は、AUXのときに限り表示されます。
- "LEVEL" (3Dステレオ効果の強さ) は、3DステレオがONのときに限り表示されます。



2 調整する

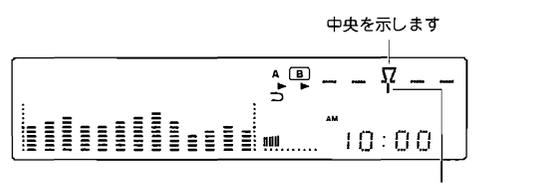
バランス
BALANCE調整のとき

右の音が小さくなる
左の音が小さくなる

インプットレベル調整のとき

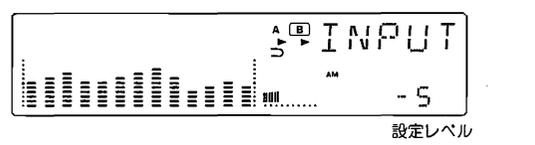
レベルが小さくなる
レベルが大きくなる

BALANCE調整のとき



バランスの設定を示します

インプットレベル調整のとき



● -24~6の範囲で調整ができます。



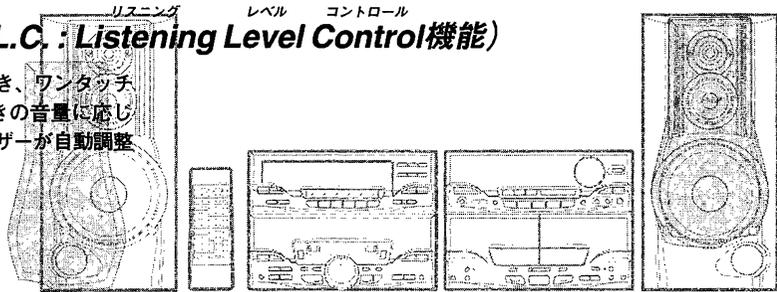
インプットレベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部機器からの録音レベルも変化します。

イコライザー (LOW, MID, HIGH) の調整について

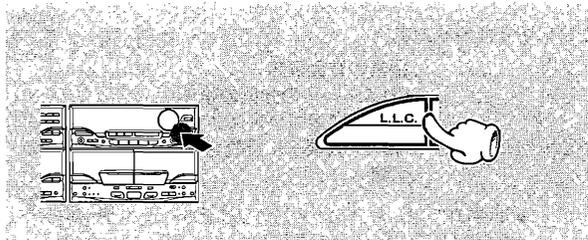
イコライザーが"MANUAL" (ユーザーメモリー)のときに限り、LOW, MID, HIGHの設定項目が表示されます。これらの項目を調整した結果は、自動的に記憶されます。

小音量で聴くとき (L.L.C.: Listening Level Control機能)

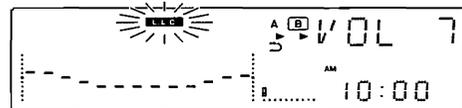
静かに聴くときの音量(L.L.C.音量)を設定しておき、ワンタッチで呼び出せます。L.L.C.を使用すると、そのときの音量に応じて、高音と低音の不足感を補うように、イコライザーが自動調整されます。



1 L.L.C.をONにする

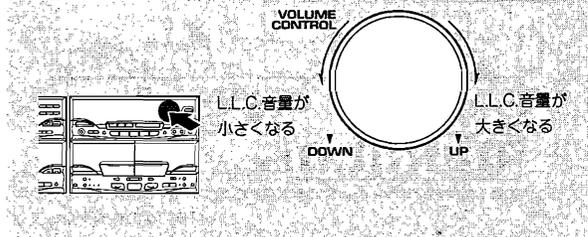


点滅(5秒間)→点灯

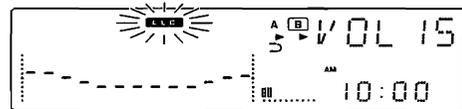


2 L.L.C.音量を調整する

L.L.C.インジケータの点滅中に音量を調整する



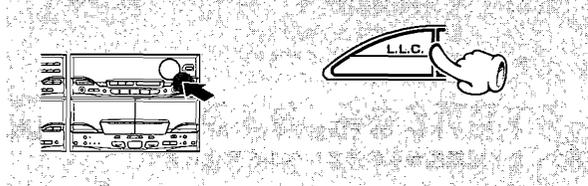
L.L.C.音量の表示



●L.L.C.音量が28を超えると、高音、低音の補正は行われません。

3 調整した音量を記憶させる

L.L.C.インジケータの点滅中に押す



記憶させた音量を呼び出すには

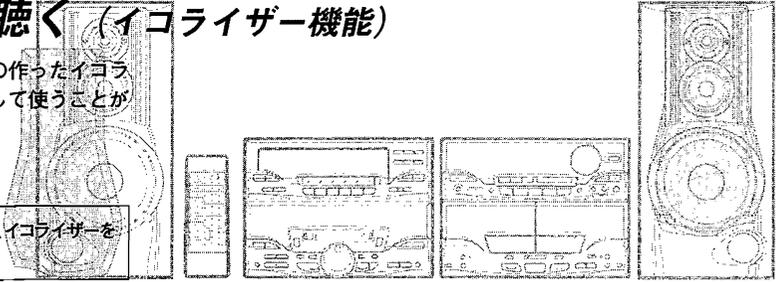


- 音量が小さくなり高音、低音が補正されます。
- L.L.C.がONのときは、VOLUME CONTROLつまみを回す早さにかかわらず、変化量は、一定になります。
- 記憶されているL.L.C.音量が現在のボリュームよりも大きい場合、音量は変化しません。
- L.L.C.を解除しても音量は、元に戻りません。必要に応じて調節してください。

お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

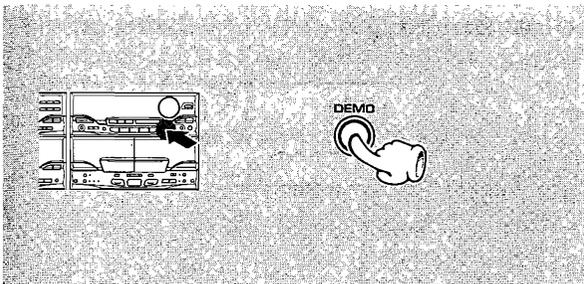
4通りのイコライザーパターンに加えて、あなたの作ったイコライザーパターンを1種類記憶させておき、呼び出して使うことができます。

イコライザーを^{オン}にして録音したテープやMDを聴くときは、イコライザーを^{オフ}にしてください。

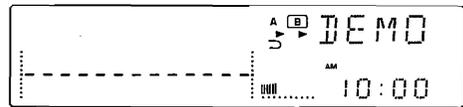


デモンストレーションをしてみましょう

イコライザーや音場効果が順に変化していきます。効果を確認してみましょう。



文字が左に流れます。



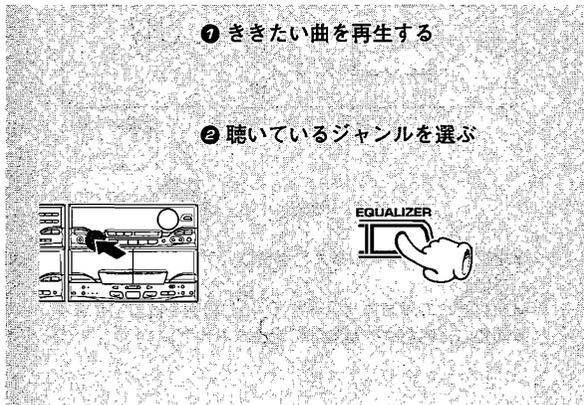
押すたびに切り換わります。

- ① DEMO
- ② OFF (デモンストレーション解除)



イコライザーパターンを選ぶ

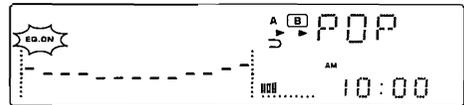
聴いている音楽のジャンルにあわせて、お好みでイコライザーのパターンを選ぶことができます。グラフィックイコライザー効果かけた状態で録音することもできます。



① ききたい曲を再生する

② 聴いているジャンルを選ぶ

文字が左に流れます。

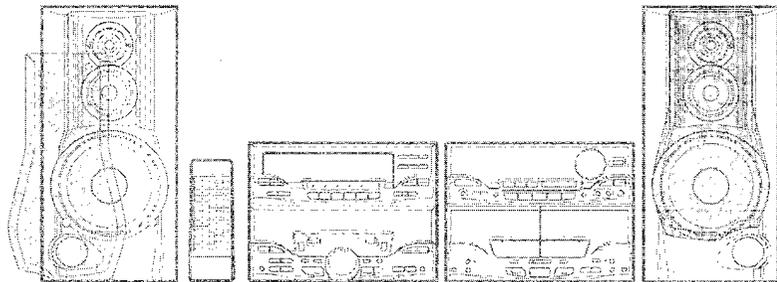


押すたびに切り換わります。

- ① MANUAL イコライザーパターンを作って記憶させることができます。
- ② POP (ポピュラー)
- ③ ROCK (ロック)
- ④ JAZZ (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC (クラシック)
- ⑥ HIT MASTER ヒットマスター (カラオケ用)
- ⑦ EQ OFF (EQ.ON消灯...イコライザー解除)



音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。(CD→MDを除く)



イコライザーパターンを作って記憶させる

お好みのイコライザーパターンを作って記憶させることができます。

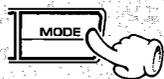
① "MANUAL"を表示させる



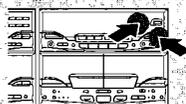
3秒以内に手順②へ

② イコライザーパターンを調整します。

(1) 周波数バンドを選ぶ



(2) レベルを調整する



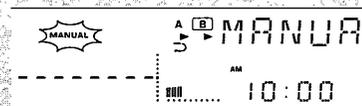
(3) LOW, MID, HIGHのそれぞれを調整します。

③ 記憶させる



押すたびに切り換わります。

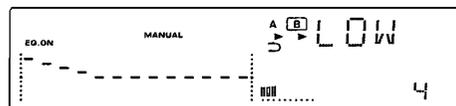
- ① MANUAL
- ② POP
- ③ ROCK
- ④ JAZZ
- ⑤ CLASSIC
- ⑥ HIT MASTER
- ⑦ EQ OFF



押すたびに切り換わります。

- ① LOW 低音域 (ベースやバスドラムなど)
- ② MID 中音域 (ヴォーカル、ギターなど)
- ③ HIGH 高音域 (シンバルなど)

設定項目

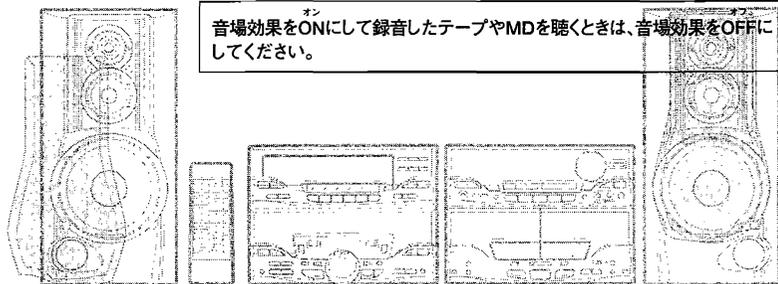


設定レベル

- 設定中に入力を切り換えた場合は、手順①よりやり直してください。
- それぞれの周波数バンドを-5~5の範囲で調整できます。
- 調整した内容は、自動的に記憶されます。

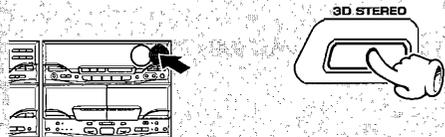
XL-3MD (J)

音場効果を楽しむ

スリーディー サウンド リトリバー システム
3Dステレオ (Sound Retrieval System) を体験する

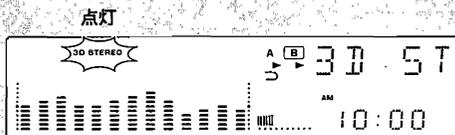
Sound Retrieval Systemとは、音声信号に対して、人間の聴覚メカニズムに基づいた最適な処理を加えることで、3次元的な音響空間を造り出す、画期的なシステムです。従来、2チャンネルステレオ(一般のステレオ)では再現が難しいとされている、リアルな奥行きや、音像の定位をもたらします。どのようなソース(CD、テープ、放送...)でも十分な効果を得ることができます。3Dステレオをかけた状態で録音することもできます。

① 3DステレオをONにする



押すたびに切り換わります。

- ① "3D STEREO"点灯...3DステレオON
- ② "3D STEREO"消灯...3DステレオOFF



② 効果の強さ(レベル)を調節する

(1) "LEVEL"を表示させる



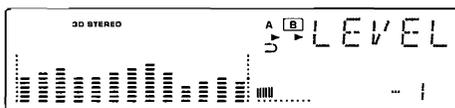
押すたびに切り換わります。

- ① VOL 通常の音量調節
- ② LEVEL 3Dステレオの効果の強さ
- ③ --7-- 左右の音量バランス
- ④ INPUT AUX入力端子に接続された外部機器からの音量

(2) 効果の強さを調節する



- "INPUT" は、AUXのときに限り表示されます。
- 録音中に、3DステレオのON/OFF切り換えはできません。



レベルの表示

- -10~10の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。

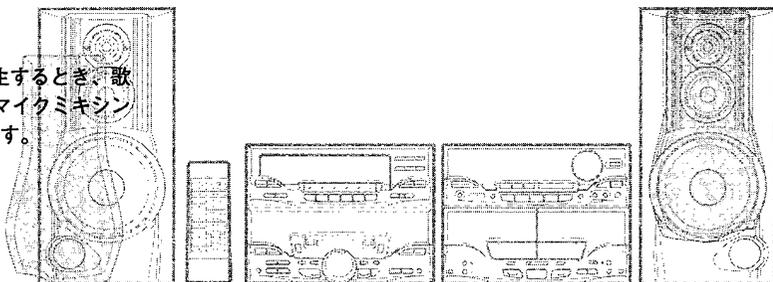


音にイコライザーや3Dレベルの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。(CD→MDを除く)

→ 63, ← 65

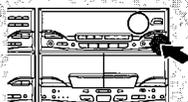
カラオケを楽しむ

歌と演奏が収録されているCDやテープなどを再生するとき、歌のパートだけ音量を小さくすることができます。マイクミキシングと組み合わせれば、簡単にカラオケを楽しめます。

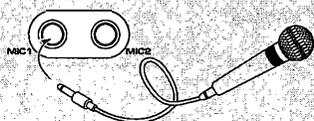
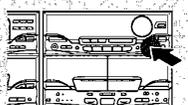


1 マイクをつなぐ

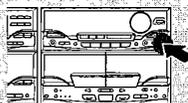
マイク ミキシング
① MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻す



マイク
② MIC端子にマイクを接続する



③ 入カソースとマイクの音量バランスを調節する



マイクの音が小さくなる



マイクの音が大きくなる

●ミニプラグ付きのマイクをご使用ください。

●マイクを使用しないときは、MIC MIXINGつまみを左いっぱいに戻しておいてください。

2 音楽を再生する

3 曲に合わせて歌う



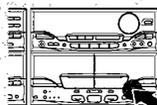
●普通のヴォーカル入り音楽ソースしかないときは、HIT MASTER機能を利用できます。

●全体の音量は、VOLUME CONTROLつまみで調節してください。

カラオケを録音するには

あなたが今歌っている状態のままテープに録音できます。

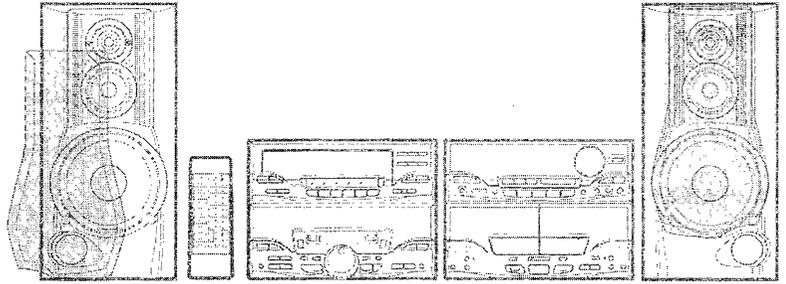
① 手順④まで行なう



② 録音する

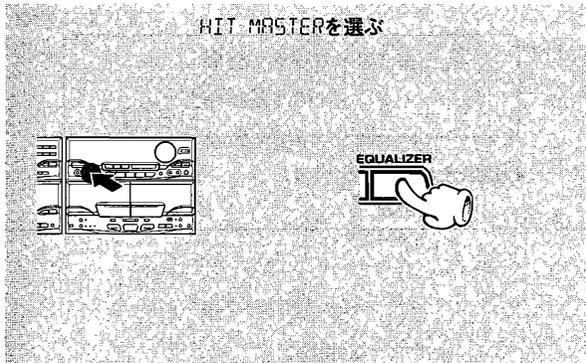


テープの演奏でカラオケをするときや、CDの演奏でMDに録音するときその音は、録音できません。



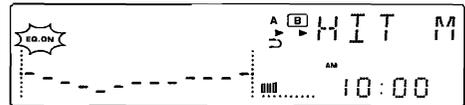
歌入りのソフトでカラオケを楽しむ (HIT MASTER機能)

ヴォーカル入りの音楽ソースを疑似カラオケ音楽ソースとして楽しむ機能です。カラオケ専用CDやテープがなくてもカラオケを楽しむことができます。



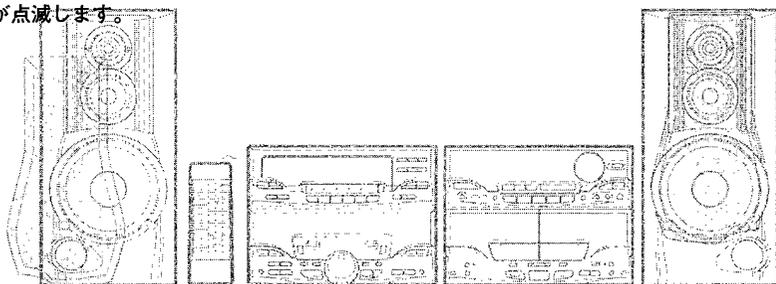
繰り返し押しして選びます。

- ① MANUAL (マニュアル)
- ② POP (ポピュラー)
- ③ ROCK (ロック)
- ④ JAZZ (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC (クラシック)
- ⑥ HIT MASTER (ヒットマスター (カラオケ用))
- ⑦ EQ OFF (EQ.ON消灯...イコライザー解除)



- 音楽ソースのヴォーカルが小さくなります。ただし、曲やディスクによっては効果が弱い場合があります。
- MIC MIXINGつまみを左いっぱいにして録音すると、カラオケテープを作ることができます。

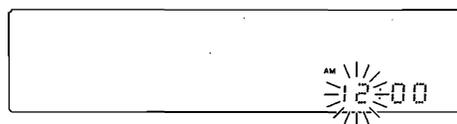
ACコードをコンセントに接続すると、時計表示が点滅します。
説明に従って正確な時刻を合わせてください。



電源がOFFになっていることを確認してください。

1 時刻合わせモードにする

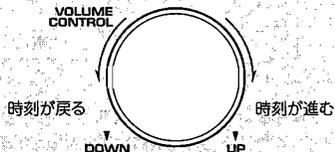
8時45分に合わせる例



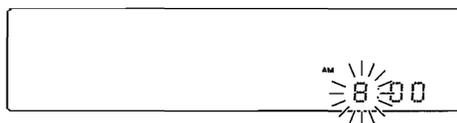
●時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

①



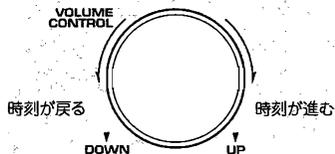
②



- 時刻は12時間表示で表示されます。
- ENTERキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる

①



②



- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時にENTERキーを押すと正確な時刻表示ができません。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

オペレート イージートゥーユーズタイマー (O.T.T.)

指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がOFFになります。設定直後の1回だけ働きます。

おやすみタイマー

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音 (PROG.1, PROG.2)

設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG.1, PROG.2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなります。



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。

MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をON状態にしておいてください。

オペレート イージートゥーユーズ タイマー (Operate easy To use Timer : O.T.T.)

聴きたいソースと時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生ができます。再生開始から1時間で、電源が自動的にOFFになります。



O.T.T.による動作が終了するまでは、プログラムタイマーは動きません。

タイマーでテープを再生するときは、Bデッキが優先されます。

- ① 聴きたいソースを選ぶ
- ② 電源をOFFにする
- ③ MODEキーを押す



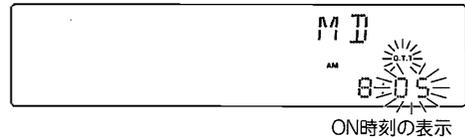
- ④ ON時刻をセットする



- ⑤ 決定する



- CDを再生するときは、トレイNo.1にセットしないと、タイマー再生されません。
- 音量を設定しておきます。
- MODEキーを押すと、入力ソースおよび、ON時刻の表示になります。



ON時刻の表示

- ON時刻は、5分単位で設定できます。

おやすみタイマー

何分後に電源を切るかを設定します

- ① 電源をONにする



- ② 時間を設定する

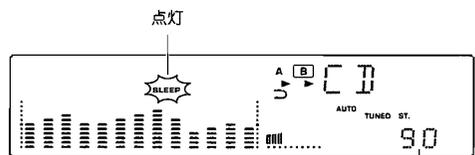


解除するには

電源がOFFのままで、MODEキーを2回押す。

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。
- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。最大約90分まで設定できます。

90 → 80 → 70 30 → 20 → 10 → 解除 → 90 → 80



セットする時間

解除するには

電源をOFFにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押す

プログラムタイマー予約

2系統(PROG.1, PROG.2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の筒隔をあけて予約してください。



MDは、ディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。

MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をON状態においてください。
→ [79]

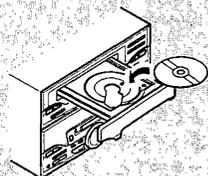
1 聴く(録音する)ための準備をする

放送局を聴く

放送局をプリセットしておく
→ [27]

CDを聴く

ディスクを入れる(プログラム再生はできません。)



トレイNo.1にセットしないとタイマー再生されません。

外部入力ソースを聴く

AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする

MDを聴く

ディスクを入れる



テープを聴く

Bデッキにテープをセットする



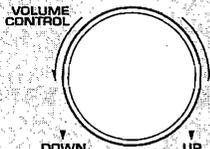
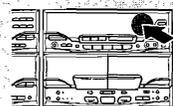
タイマー再生時は、Bデッキが優先されます。

録音する

録音の準備をする

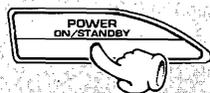
テープ→ [28]
MD→ [32]

2 音量を調節する



- 放送を録音するときは、タイマーで電源がONになると、ミュート状態(消音: "MUTE"表示点滅)に自動セットされません。

3 電源をOFF(スタンバイ状態)にする



4 プログラム番号を選ぶ

①



押すたびに切り換わります。

- ① PROG. 1 .. プログラム1
- ② PROG. 2 .. プログラム2
- ③ 通常状態

②

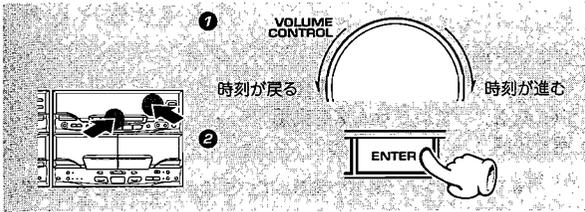


プログラム内容の表示中に押す

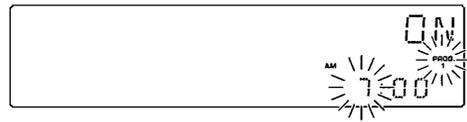


- 選んだプログラム番号が点灯します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

5 オン時刻を設定する

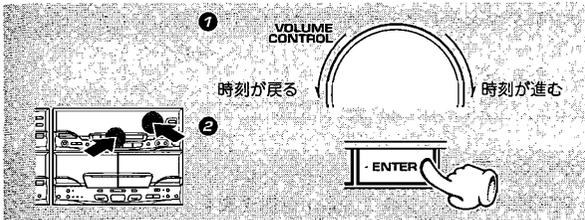


- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。

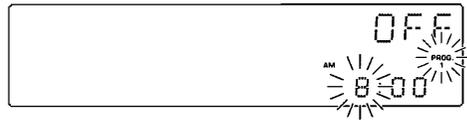


- 間違えたときは手順②からやり直してください。

6 オフ時刻を設定する



- ①、②の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。



- 間違えたときは手順②からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

① モードを選ぶ (1) "PLAY"または"AI"を選ぶ

① PLAY タイマー再生
② REC
③ AI だんだん音が大きくなるタイマー再生

② 決定する

② 入力ソースを選ぶ (1) 何を聴くかを選ぶ

① TUNER 放送
② CD CD
③ TAPE テープ
④ MD MD
⑤ LAST 最後に聴いていたもの

② 決定する

③ 放送局を選ぶ (TUNER時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

② 決定する

● 放送局は必ずプリセットしておいてください。

放送のタイマー録音をするとき

① モードを選ぶ (1) "REC"を選ぶ

① PLAY
② REC
③ AI

② 決定する

② 放送局を選ぶ (1) プリセットチャンネルを選ぶ

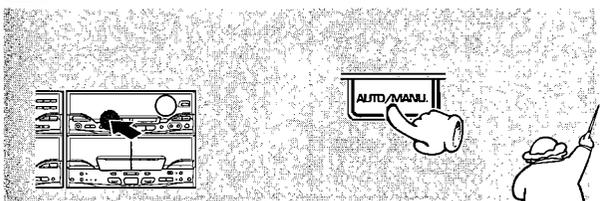
② 決定する

③ 録音する機器を選ぶ (1) 選ぶ

① MD
② TAPE

② 決定する

8 働かせたいプログラム番号をセットする



押すたびに切り換わります。

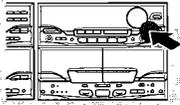
- ① PROG.1 プログラム1のみ実行
- ② PROG.2 プログラム2のみ実行
- ③ PROG.1, 2... プログラム1と2の両方を実行
- ④ タイマー オフ

- 選んだプログラム番号が点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

電源がOFFになっていることを確認してください。

予約の内容を確認する

確認したいプログラム番号を選ぶ



予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1.. プログラム1を表示
- ② PROG.2.. プログラム2を表示
- ③ 通常状態

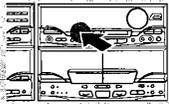
●予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

予約内容を変更したいときは

"プログラムタイマー予約"を始めからやり直してください。

タイマーを働かせたくないとき

プログラム表示をすべて消灯させる



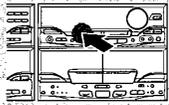
押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1..... プログラム1が働きます
- ② PROG.2..... プログラム2が働きます
- ③ PROG.1, 2 プログラム1,2ともに働きます
- ④ 消灯..... プログラムは働きません

●予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットする

セットしたいプログラム表示を点灯させる



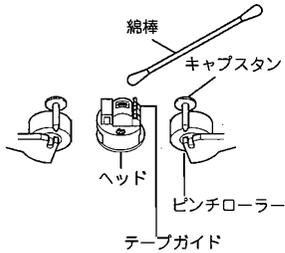
押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1..... プログラム1が働きます
- ② PROG.2..... プログラム2が働きます
- ③ PROG.1, 2 プログラム1,2ともに働きます
- ④ 消灯..... プログラムは働きません

●ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを「露付き」といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号は、ドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

サウンド・リトリバル・システムはSRS・ラプス・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。SOUND RETRIEVAL SYSTEMおよび(●)はSRS・ラプス・インコーポレーテッドの商標です。この製品の購入はサウンド・リトリバル・システムによる録音物を販売する権利を譲渡するものではありません。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	アンプ部 POWERの状態(ONまたはOFF) 入力切換 ボリュームの値 バランスの設定 イコライザーのユーザーメモリー チューナー部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容 カセットデッキ部 走行方向 ドルビーNR リバースモード MDレコーダー部 → 79

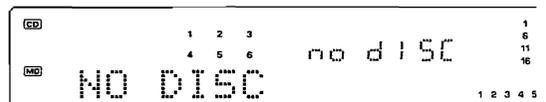
輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

1. ▲キーを押して、CD、MDをすべて取り出します。

DISC1~DISC6まで全てのトレイを、オープンしてディスクが入っていないことを確認してください。

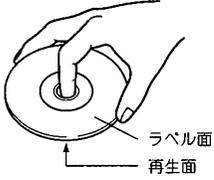
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。



3. 電源をOFFにします。

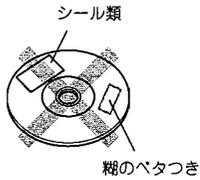
ディスクとテープの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

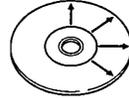


取り扱い

再生面にふれないように持ってください。



- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずアルコールでふき取ってからご使用ください。特に中古CD、レンタルCD等にご注意ください。



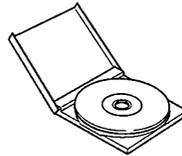
お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



本機で使用できるディスクについて

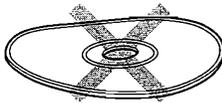
CD (12cm, 8cm), CDV (オーディオパートのみ)

- CD - G (CDグラフィックス)ディスクは、本機では音声のみの再生になります。



注意

異常なディスクは使用しない

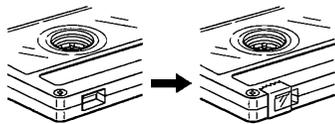
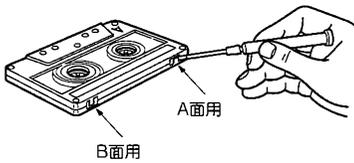


再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

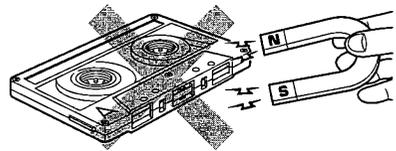


再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。

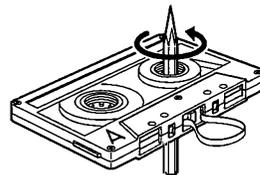
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.110/120分テープについて

110/120分テープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ミニディスク
MDシステムとは

ミニディスクシステムの特長をまとめると、次のようになります。

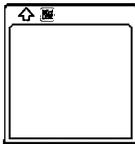
- ① CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ② カートリッジに入った直径64mmのディスクを使用する。
- ③ 2種類のディスクに対応する。
- ④ 高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤ 半導体メモリーを使った耐震技術。

2種類のミニディスク

ミニディスクには、再生専用のものと、録音→再生のもの、2種類があります。

再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



高能率符号化技術 "ATRAC"

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された*高能率符号化技術によって可能となりました。

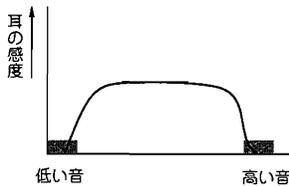
*高能率符号化技術：

ATRAC (Adaptive TTransform Acoustic Coding)

ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音

低い音や高い音は、ある程度の音量がないと聞き取れない。



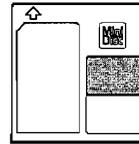
大きな音の近くの小さな音

大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)



録音用ミニディスク

録音可能なミニディスクで、光磁気ディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ディスクの下面からレーザー光を照射し、ディスクの上面から磁界を印加して記録しています。

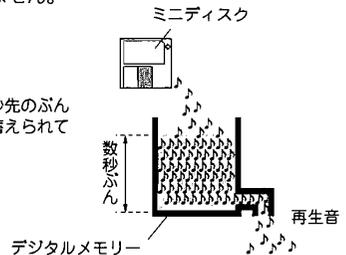


音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時

再生中、音は数秒先のぶんまでメモリーに蓄えられています。



震動があったとき

震動や衝撃を受けてディスクからの読みだしが途切れても、メモリーからの再生音は途切れません。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都港区新橋1丁目4番5号徳山曹達本館ビル

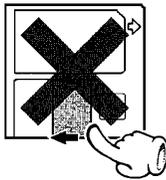
電話 (03) 3506-8407
FAX. (03) 3506-8408

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

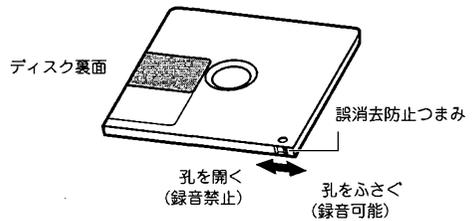
セットの中では、ディスクのシャッターは常に開いています。従ってディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにディスクをセットから取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

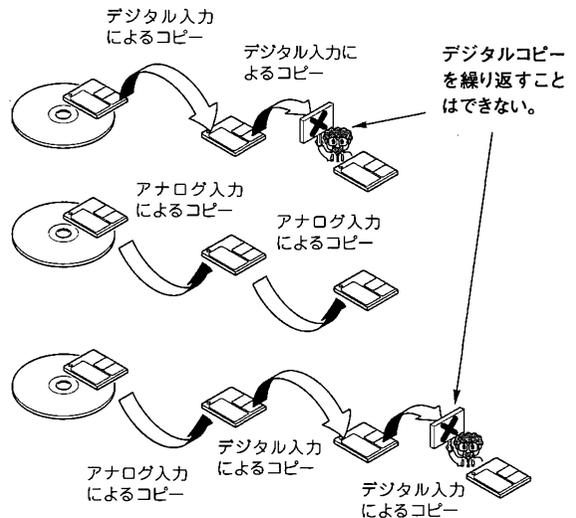
デジタル録音とSCMSについて

ミニディスクでは全てのソースに対してデジタル録音することはできません。次の場合は、デジタル録音できませんので注意してください。

コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)..."SCMS CAN'T REC"と表示して録音一時停止になります。

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



マイコンをリセットするには

電源がONのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

アンプ/チューナー部：電源プラグをコンセントから抜き、POWERキーを押したまま、差し込み直します。

CD プレーヤー/MDレコーダー部：電源がOFFのとき、ENTERキーを押したままPOWERキーを押してON状態にします。

アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTEがONになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 ●システムの接続コードがはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEをOFFにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 ●システムの接続コードを確認する。 	→ 4 → 14 → 4
"PROTECT"の表示がスクロールし音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。 	
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●差し込みが不完全。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しく差し込む。 	→ 15
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。 	→ 4 → 61

チューナー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	→ 68
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定する。 ●AUTO/MANU.キーで実行指定する。 	→ 71
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	→ 4 → 26
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	→ 27

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、": 
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、":  ●削除された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"DISC READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"DISC READING"が表示されます。
モノラル録音されたディスクのとき、時間表時が不正確になる。	<ul style="list-style-type: none"> ●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●ディスクを入れる。 ●録音済ディスクまたは再生用ディスクを入れる。 	→  4
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(AUX使用時) ●再生専用ディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り換える。 ●録音できません。 ●AUXインプットレベルを調節する。 ●録音用ディスクを入れる。 ●ディスクを入れ換える。 ●入力切換えを録音したいソースにする。 	→  76 →  76 →  61
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) ●ひずんだ音で録音されたディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUXインプットレベルを調節する。 ●再度録音をする。 	→  61
雑音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。 	
録音された音量が途中で変わっている	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ録音中に ^{レック}REC LEVELつまみや ^{マイク}MIXINGつまみを動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中は、つまみを動かさないください。 	
電源ON後、表示が一瞬消える	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を ^{オフ}OFFにして、すぐに ^{オン}ONにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。 	

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
NO DISC	●ディスクが入っていない。	●ディスクを入れる。	
SCMS CAN'T REC	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●録音できません。	→ 76
DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。	
TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ 60
BLANK DISC	●何も録音されていないディスクです。	●再生するときは、録音済みのディスクに取り換える。	
DISC/NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。	
DISC READING	●TOC *1情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
DISC WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
DISC ERROR	●UTOC *2の内容が異常である。	● ^{オール イレース} "ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→ 57
CAN NOT EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
ok? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● ^{エンター} ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。

TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源OFFまたは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのMDメモリーの記憶時間は、約1日間です。長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ディスク取り出し時に記録される)がディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。このとき、MDを入れたまま電源をONにするとディスクは、自動的に排出されます。録音、編集後には、録音、編集の情報をディスクに記録するために、必ずディスクを取り出してください。

カセットデッキ部

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。 	→ 73
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを開けて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを開けてから何秒か待って操作キーを押す。 ●4秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向を変える、またはテープを裏返す。 	
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"飛び越し選曲"をお読みください。 	→ 21
AデッキとBデッキで、ダビングの終わる時間が違う。	<ul style="list-style-type: none"> ●テープの長さやカセットデッキのメカニズムの特性によるもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多少の時間差は故障ではありません。 	
イジェクトキーを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●いったん電源プラグを抜いて、差し込み直す。 	
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になってる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。 	→ 73
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 ●イコライザーなどの効果をかけて録音されたテープに、更にイコライザーをかけて再生している。 ●自動調整をしていない。(CD/MDのみ) ●インプットレベルの調整が適正でない。(外部入力のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープを交換する。 ●イコライザーなどの効果をOFFにする。 ●自動調整する。(CD/MDのみ) ●インプットレベルを再調整する。(外部入力のみ) 	
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●DOLBY NRをONで録音したテープをOFFで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRをONにする。 	→ 73
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	→ 73
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●入力切り換えキーが、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●入力切換キーを録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	
録音された音量が途中で変わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中に<small>マイク ミキシング</small>MIC MIXINGつまみを動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中は、つまみを動かさないでください。 	

CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"露付きにご注意"を参照し、露を蒸発させる。 	<p>→ 74</p> <p>→ 73</p>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●CD (▶/II) キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 	<p>→ 74</p>
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。 	<p>→ 74</p>

CDプレーヤー部(メッセージ表示について)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
Err*** (*は数字)	●何らかのトラブルを示します。トラブルの内容によって、数字の部分が異なります。	●電源をいったんOFFにし、再びONにすると、通常の状態に戻ります。	

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする機器に、テープ、CD、MDが入っていない。 ●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●再生しようとする機器に、テープ、CD、MDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。 	<p>→ 13</p> <p>→ 13</p>



1. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに"キュー"という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くため、故障ではありません。
2. 110/120分テープは、テープ厚が薄くてわかめ状になりやすいため、ご使用にならないください。
3. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

アンプ/チューナー/カセット部 (RX-G7)

[アンプ部]

実用最大出力	70W+70W (EIAJ 6Ω)
SN比 (EIAJ)	
LINE (AUX)	88dB
N.B. CIRCUIT特性	+6dB (70Hz)
入力感度/インピーダンス	
LINE (AUX)	200mV/47kΩ
MIC	2.1mV/2.2kΩ
出力レベル/インピーダンス	
スーパーウーファープリアウト	2V/1kΩ

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	120W
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 205mm
	奥行 337mm
重量 (正味)	6.7kg

[チューナー部]

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76MHz~90MHz
実用感度 (モノラル)	1.2μV (13.2dBf, 75Ω)
高調波ひずみ率	
モノラル	0.6% (1kHz)
ステレオ	0.7% (1kHz)
SN比	
モノラル	75dB (65dBf入力時)
ステレオ	68dB (65dBf入力時)
ステレオセパレーション (1kHz)	40dB
実効選択度 (±400kHz)	50dB
AMチューナー部	
受信周波数範囲	531kHz~1,602kHz
実用感度	12μV (500μV/m)
SN比 (モノラル受信時)	48dB

[カセットデッキ部]

トラック方式	4トラック 2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス (周波数: 105kHz)
ヘッド	
Aデッキ用 再生用	1
Bデッキ用 録音/再生用	1
消去用	1
モーター	1
早巻き時間	約120秒 (C-60)

CD/MDプレーヤー部 (DM-MG7)

[CD/MDプレーヤー部]

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
回転数 (MD)	約400rpm~900rpm (CLV)
D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	8fs (352.8kHz)
A/Dコンバーター (MD)	4次ΔΣ方式
サンプリング周波数 (MD)	44.1kHz
周波数特性 (EIAJ)	8Hz~20kHz
SN比 (EIAJ)	84dB以上 (再生)
ダイナミックレンジ (EIAJ)	83dB以上 (再生)
チャンネルセパレーション (1kHz)	84dB以上 (再生)
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
出力レベル/インピーダンス	
固定出力	1.2V/1.2kΩ以下
最大外形寸法	幅 270mm
	高さ 205mm
	奥行 330mm
質量 (重量)	5.6kg (正味)

スピーカー部 (LS-G7)

エンクロージャー	バスレフ型
スピーカー構成	
メインスピーカー	
ウーファー	150mm コーン型
ツイーター	50mm コーン型
スーパーツイーター	25mm ドーム型
インピーダンス	6Ω
周波数帯域	45Hz~20,000Hz
最大入力	80W
最大外形寸法	幅 200mm
	高さ 410mm
	奥行 285mm
質量 (重量)	5.2kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。
(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。
(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

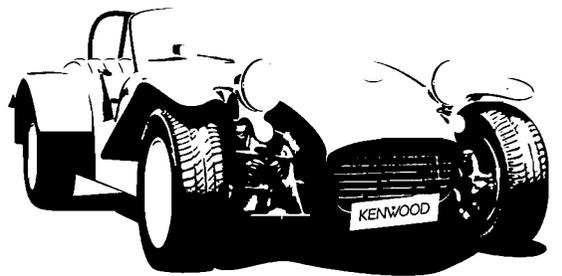
- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台第二ビル)
(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。



音量に気をつけて



電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》



お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。

《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



指をはさまれないよう注意



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

●極性表示(プラス" +"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



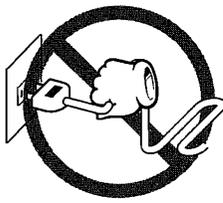
電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



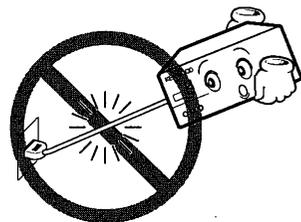
機器を移動させる際は



電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

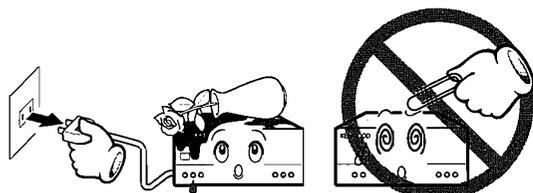


機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

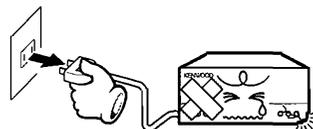


落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

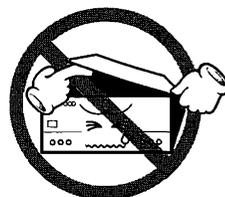


ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

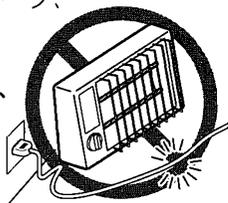


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

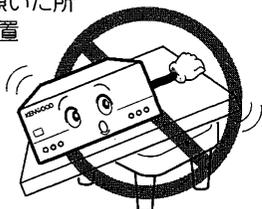
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

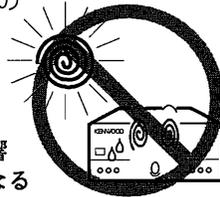
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜け

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



電源コードの取扱い

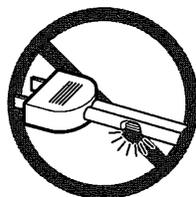
電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

●修理をご依頼ください。

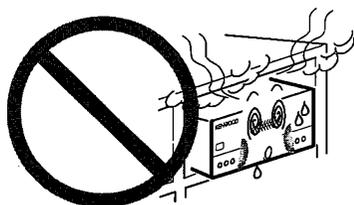


放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、おおむけ、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

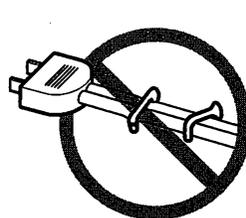


電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



異常かな？と思ったら

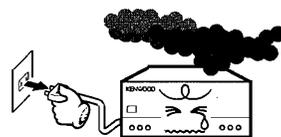
煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

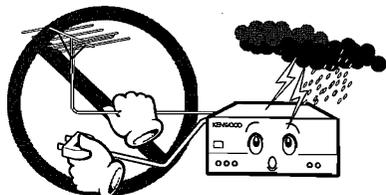


電源プラグをコンセントから抜け



雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



KENWOOD



安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)